

2025年度

単年度計画

羅臼の社会教育

学びがいと

生きがいを

求めて

羅臼町教育委員会



—解 説—

羅臼の「臼」を輪にして和を表し、和をもって
この町の発展を希うものである。

羅臼町民憲章

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた
羅臼の町民です。

- 一、 自然を愛し、先人の強い意志をうけつぎます。
- 一、 健康で、明るく楽しい家庭をつくれます。
- 一、 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 一、 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 一、 子どもたちの夢と、若い力を育てます。

目次

羅臼町教育大綱・社会教育推進の重点	1～ 2
2025年度予算の概要と社会教育関係予算の推移	3～ 4
羅臼町第9次社会教育中期計画全体図	5～ 6
2025年度社会教育・社会体育事業月別予定一覧表	7～ 8
2025年度社会教育・社会体育事業	9～18
2025年度芸術文化事業月別予定一覧表	19
2025年度芸術文化事業	20～22
2025年度図書館事業月別予定一覧表	23
2025年度図書館事業	24～30
2025年度郷土資料館事業月別予定一覧表	31
2025年度郷土資料館事業	32～35
資料編	36～44

◆羅臼町民憲章

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、

オホーツクの海原の大自然に はぐくまれた羅臼の町民です

- 一、自然を愛し、先人の強い意志を受けつぎます
- 一、健康で、明るく楽しい家庭をつくります
- 一、教養を高め、豊かな情操を育てます
- 一、仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます
- 一、子どもたちの夢と、若い力を育てます

◆羅臼町教育目標

ふるさと羅臼の躍進を創造し

いきいきと逞しく行動する 心豊かな町民の育成

◆羅臼町が目指す教育の基本方針

- 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む
 - 知床羅臼町の豊かな自然、独自の歴史や文化への理解を深めながら、社会の変化に対応し、生涯にわたって生き抜く力を身に付け、自立の精神にあふれ、自分の良さや可能性を見だし、夢や目標の実現に向けて挑戦しながら、羅臼町はもとより国内外で活躍する人を育みます。
- ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支えあう人を育む
 - 生まれ育ったふるさとへの誇りと愛着を持ち、よりよい社会の実現に貢献しようとする主体性と責任感、規範意識などの倫理観、人間尊重の精神や思いやりの心を持って、お互いを尊重し、共に支え合いながら、持続可能な地域づくりを支える人を学校・家庭・地域との連携の下、知床羅臼町の町民総掛かりで育みます。

羅臼町教育目標

ふるさとの躍進を創造し

いきいきと逞しく行動する 心豊かな町民の育成

社会教育目標

【21世紀をたくましく心豊かに生きるため、共に学びあう社会教育を推進する】

1. 地域の課題をみつめ、自主・自立のまちづくりをめざそう（社会教育活動）
2. 心をむすぶ文化活動と、生涯学習活動で豊かなふるさとづくりをめざそう（芸術文化活動）
3. 図書館を基盤として、ゆとりある読書活動と着実な読書習慣の定着をめざそう（図書館活動）
4. 健康の増進、コミュニティづくりに役立つスポーツ活動をめざそう（社会体育活動）
5. 自らの地域について学び、愛着や誇りをもつ暮らしをめざそう（郷土資料館活動）

重 点

【ふるさと学習（教育）の推進】

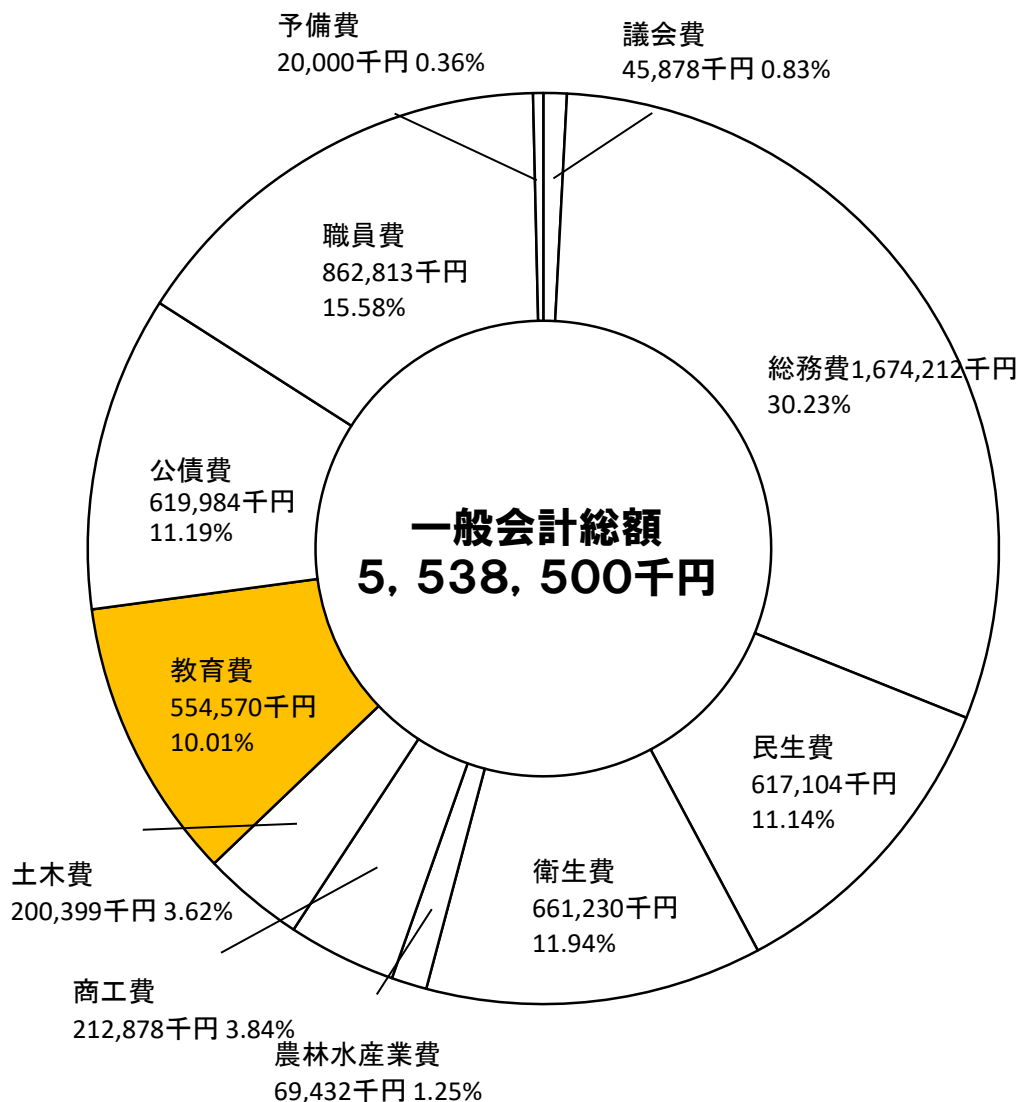
重 点 目 標

【シビックプライドの醸成】

4 力 年 の 重 点 事 項

1. 地域と学校の連携・協働の推進
2. 生涯学習・社会教育の振興
3. 芸術・文化活動の推進
4. 安心・安全な教育施設の構築

2025年度予算の概要



社会教育関係予算の推移

科目	年度	2025年度 (令和7年度)	対前年度比較増減	前年対比 (%)
一般会計予算		5,538,500	422,541	108%
教育費		554,570	128,975	130%
社会教育関係予算 (A+B')		127,466	△ 15,591	89%
A. 社会教育費 (①～⑤)		71,673	15,343	127%
①社会教育総務費		20,939	1,798	109%
②公民館費		0	0	0%
③図書館費		12,606	△ 2,450	84%
④芸術文化費		600	0	100%
⑤文化財保護調査費		37,528	15,995	174%
B. 保健体育費		174,271	1,379	101%
B' 社会体育関係 (⑥～⑩)		55,793	△ 30,934	64%
⑥保健体育総務費		2,901	△ 3,113	48%
⑦体育館費		31,049	3,142	111%
⑧スキーリフト管理費		34	2	106%
⑨総合グラウンド管理費		9,724	△ 6	100%
⑩温水プール管理費		12,085	△ 30,959	28%
⑪給食センター管理費		118,478	32,313	138%

(参考) 2025年度教育費歳出予算

(単位: 千円)

区 分			予 算 額		
款	項	目	本年度	前年度	比 較
一	般	会 計 予 算	5,538,500	5,115,959	422,541
教育費			554,570	425,595	128,975
	1	教育総務費	136,837	80,392	56,445
		1. 教育委員会費	1,927	1,927	0
		2. 事務局費	26,020	12,803	13,217
		3. 義務教育振興費	82,637	48,817	33,820
		4. 教職員厚生費	6,461	7,590	△ 1,129
		5. 中等教育振興費	43	22	21
		6. 教育支援費	19,749	9,233	10,516
	2	小学校費	91,074	66,287	24,787
		1. 学校管理費	88,297	62,128	26,169
		2. 教育振興費	2,777	4,159	△ 1,382
		3. 学校建設費	0	0	0
	3	中学校費	33,178	31,244	1,934
		1. 学校管理費	29,534	26,580	2,954
		2. 教育振興費	3,644	4,664	△ 1,020
		3. 学校建設費	0	0	0
	4	幼稚園費	47,537	18,450	29,087
		1. 幼稚園管理費	47,537	18,450	29,087
	5	社会教育費	71,673	56,330	15,343
		1. 社会教育総務費	20,939	19,141	1,798
		2. 公民館費	0	0	0
		3. 図書館費	12,606	15,056	△ 2,450
		4. 芸術文化費	600	600	0
		5. 文化財保護調査費	37,528	21,533	15,995
	6	保健体育費	174,271	172,892	1,379
		1. 保健体育総務費	2,901	6,014	△ 3,113
		2. 体育館費	31,049	27,907	3,142
		3. スキーリフト管理費	34	32	2
		4. 総合グラウンド管理費	9,724	9,730	△ 6
		5. 温水プール管理費	12,085	43,044	△ 30,959
		6. 給食センター管理費	118,478	86,165	32,313

令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
5,115,959	5,452,674	5,270,096	4,963,122
425,595	402,449	407,783	449,503
143,057	140,169	131,913	129,142
56,330	27,324	54,497	30,807
19,141	11,678	16,342	18,393
0	0	0	0
15,056	6,048	20,959	3,882
600	600	600	610
21,533	8,998	16,596	7,922
172,892	182,283	161,177	175,865
86,727	112,845	77,416	98,335
6,014	3,433	2,902	2,906
27,907	29,220	28,875	45,253
32	30,447	312	26
9,730	18,077	9,523	9,393
43,044	31,668	35,804	40,757
86,165	69,438	83,761	77,530

羅臼町第9次社会教育中期計画全体図 <令和6（2024）年度～令和9（2027）年度>

重点　　点　　ふるさと学習（教育）の推進		重点目標　シビックプライドの醸成	
教育 目標	教育の基本方針	社会教育目標	
	●自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む ➤知床羅臼町の豊かな自然、独自の歴史や文化への理解を深めながら、社会の変化に対応し、生涯にわたって生き抜く力を身に付け、自立の精神にあふれ、自分の良さや可能性を見いだし、夢や目標の実現に向けて挑戦しながら、羅臼町はもとより国内外で活躍する人を育みます。 ●ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支えあう人を育む ➤生まれ育ったふるさとへの誇りと愛着を持ち、よりよい社会の実現に貢献しようとする主体性と責任感、規範意識などの倫理観、人間尊重の精神や思いやりの心を持って、お互いを尊重し、共に支え合いながら、持続可能な地域づくりを支える人を学校・家庭・地域との連携の下、知床羅臼町の町民総掛かりで育みます。	地域の課題を見つめ、自主・自立のまちづくりをめざそう 心をむすぶ文化活動と、生涯学習活動で豊かなふるさとづくりをめざそう 図書館を基盤として、ゆとりある読書環境と着実な読書習慣の定着をめざそう 健康の増進、コミュニティづくりに役立つスポーツ活動をめざそう 自らの地域について学び、愛着や誇りをもつくらしをめざそう	
		二十一世紀をたくましく心豊かに生きるため共に学びあう社会教育を推進する	
		領域	
		乳幼児（家庭）	
		少年教育	
		社会教育	・乳幼児に対する家庭内でのメディアコントロールに関するルール作りの重要性について、情報提供や学習機会の提供を図る。 ・子どもの自律・親育ち応援チーム緒むすび(以下、「緒むすび」という)を中心に、各関係機関と連携して推進体制の整備を図る。 ・講演会を始めとした学習機会の周知の徹底を図るとともに、内容についても対象を意識して体験型にする等の協議検討を行う。 ・保護者に対し、デジタルデバイスの有効的な活用方法や子どものアカウント管理の方法等についての学習機会の提供を図る。 ・「緒むすび」の活動に関する情報発信を積極的に実施することで、講演等の参加者増加に繋げる。 ・体験活動の充実を図るために、プログラムの検討や検証を実施する。 ・事業実施の体制整備を安定的に行うために、スタッフの人材発掘を継続するとともに育成のための研修機会の提供をすることで、スタッフの知識やスキルの向上を図る。 ・変化し続ける情勢や自然環境に応じた運営方法の検討や体制・基盤整備の推進を図る。 ・大学生スタッフの獲得、延いては継続的な大学との連携へ繋げるため、大学に向けて事業の周知を図る。また、ふるさと少年探険隊への参加が大学にボランティア活動として評価を受けられるように整備を図る。
		芸術・文化	・親・子（幼児）で楽しめるコンサートや舞台演劇などの鑑賞機会の提供に努める。 ・文化団体・サークル等と連携した親子で体験できる芸術・文化に関する講座・教室等を企画する。 ・芸術文化活動を幅広く体験する機会提供事業の充実を図る。 ・郷土の生活文化について学ぶ体験プログラムを充実しふるさと学習を推進する。 ・芸術文化活動の発表の場への参加に係る支援（派遣費助成など）について検討する。 ・「少年芸術劇場」「児童生徒美術書道展」開催の継続
		図書館	・関係機関と連携し、読書に親しむ環境づくりを進める。 ・読書に親しむ習慣を身に付けるため家庭における読書活動の推進を図る。 ・親子で読書活動の楽しさを学べる機会を提供する。 ・子どもの読書環境の充実を推進するために、学校・地域・家庭との協力連携を図る。 ・小学校中学年、高学年を対象とした読書活動の充実を図る。 ・子どもの読書活動を定着するため体験活動と連動して事業展開を図る
		社会体育	・事業の開催等について、広報や町公式 SNS を活用した積極的な情報発信を行う。 ・NPO 法人羅臼スポーツクラブらいずと連携し、子育て世代のニーズを調査するとともに各家庭の交流機会の提供を図る。 ・今後維持するスポーツ少年団の在り方の検討を図る。 ・指導者の発掘及び養成とリーダーの養成を図る。 ・近隣市町とスポーツ少年団活動の連携・交流を図る。 ・総合型地域スポーツクラブと連携し、レジャースポーツの機会提供を図る。
		郷土資料館	・子どもと保護者、地域の大人が体験活動を通じて、楽しみながらふるさとについて学べる機会の提供を図る。 ・各種事業と連携し、実物のものや自然に直接触れることを核とした、ふるさと教育を実施する。 ・魅力ある体験活動プログラムを充実させ、その活用を推進する。

ふるさと羅臼の躍進を創造し いざいざと逞しく行動する 心豊かな町民の育成

推 進 事 項						
	青年教育	成人教育	高齢者教育	基盤整備 (推進体制)	基盤整備 (施設)	団体育成・ 指導者養成
	・町内青年組織同士の繋がりを作るための研修や交流の機会提供を行い、各組織及び町の課題解決に向けた連携強化を図る。 ・高校生が取り組む活動に対し、継続的且つ安定的な支援を行う。	・PTA 及びコミュニティースクールの活動について、既存事業や団体、地域との連携による活動の活性化を図る。 ・「緒むすび」と町内の子育て世代及び子育て経験者が、連携協力できる体制整備を図る。	・高齢者が参加しやすい機会の提供や環境整備を図る。 ・高齢者が講師として活躍する機会の提供を図る。 ・社会福祉協議会及び老人クラブ等と連携し、新たな学習機会の創出が必要である。	・研修等を通じて、地域ぐるみで子供たちを育てる意識の醸成を図る。 ・社会教育関係職員の適正配置と研修機会の充実を図る。 ・コミュニティースクールの学校区ごとに部会を設置し、部会を中心とした地学協働活動の推進を図る。 ・社会教育委員の知識向上のための研修機会の充実を図る。 ・学校行事補完事業の重要性を再認識し、子どもたちの学習機会を確保する。 ・地域講師人材の整理（リスト化等）	・施設の老朽化に対応した維持管理と計画的な修繕・整備を図る。 ・施設の利用促進や利用者の利便性向上のためのデジタル化等の推進を図る。 ・学校開放の利用可能教室の拡充と会議や講座開催も含めた利用促進を図る。 ・生涯学習施設整備に関する基本構想づくりに向けて各種団体との懇談・情報交換等を継続する。 ・庁内における文化施設(生涯学習施設)整備に関する方向性を検討する。(町としての施設整備に関する方向性・考え方をまとめる。	・団体の活動への支援、指導及び助言を通して人材育成を図る。 ・団体の自主自立に向けた支援を継続的に行う。 ・団体が主催する事業を始めとした活動に対し、積極的且つ自主的に取り組むよう指導助言を行う。 ・各団体の状況を調査し、ニーズや課題を把握するとともに解決に向けた事業の推進を図る。
	・青年層との情報交換の場を創出し施策を検討する。 ・他団体と連携し、芸術文化に触れ・体験する機会を提供する。 ・芸術文化鑑賞事業を通じてまちづくりに関わる人材育成を図る。	・既存団体と連携した教室・講座等の開催を促進・支援し活動の活性化を図る。 ※生活文化の伝承なども視野に。 ・魅力ある新たな教室・講座等を企画し、活発な芸術文化活動を振興する。 ※羅臼の風土を生かす or 風土に合った or 風土に根付かせたい …芸術・文化活動 例えば創作料理教室の仕掛け～料理研究会等への発展も視野に。	・高齢者が親しみやすい芸術文化活動・創作活動のプログラムを企画・提供する。(こまぐさ学級のオープン参加プログラムの設定なども視野に) ・高齢者の知恵や技術を活かす機会や、生活文化に関する伝承等、活躍の場を提供する。	・専門職員の適正配置と、文化団体や芸術文化活動に取り組む町民を支援する推進体制を堅持する。	・庁内における文化施設(生涯学習施設)整備に関する方向性を検討する。(町としての施設整備に関する方向性・考え方をまとめる。	・既存団体と連携し、活動の活性化に向けた支援を行う。 ・新たなニーズに対応した活動への導き支援を行う。
	・蔵書検索システムを活用し、図書館の利用促進を図る。 ・学校図書館と連携した青年層を中心とする読書活動の検討を図る。	・生涯学習に応えるための資料を収集し、整備を図る。 ・蔵書検索システムを活用し、利用促進を図る。	・大活字本の整備等、高齢者への読書支援を行う。	・司書を適正配置し、図書館及び学校図書館運営の支援を行う推進体制をつくる。	・資料整備及び蔵書検索機能の継続と充実を図る。 ・蔵書の更新(廃棄等)に関する基準(規則)の整備を図る。 ・多様化する図書館での過ごし方に対応した館内環境整備を図る。	・読み聞かせサークル等の継続的な支援を図る。
	・競技スポーツの推進やスポーツに触れる機会の提供を図るため、関係団体と連携し著名な講師等を招聘したスポーツイベントや教室を開催・支援する。 ・各種事業を通じて、人材の発掘と養成を図る。 ・羅臼町のスポーツ・文化の在り方検討協議会で推進体制などの方向性を確立させる。	・スポーツニーズを把握し、スポーツイベントを実施する。 ・羅臼町のスポーツ・文化の在り方検討協議会で推進体制などの方向性を確立させる。 ・保健福祉行政と連携し、健康づくり事業の機会提供を図る。	・社会福祉協議会等と連携し、男性が参加しやすい事業を提供する。 ・総合型地域スポーツクラブと連携し、スポーツ機会の提供を図る。 ・健康づくり事業の提供を図る。	・町民ニーズを把握しスポーツ振興を図る。 ・らいずと連携し冬季スポーツの提供を図る。 ・保健福祉行政と障がい者スポーツについて検討する。 ・町のスポーツ振興のため専門人材の活用を検討する。 ・羅臼町のスポーツ・文化の在り方検討協議会で、推進体制などの方向性を確立させる。	・整備計画作成のため、関係団体との協議を行う。 ・社会体育施設の利活用について、関係団体と協議する。 ・委託業者の日々の業務報告の中に、施設点検を加え、施設の状態を確認する。	・スポーツ活動が継続できるよう指導者の発掘・養成に取り組む。 ・スポーツ指導者懇談会を開催する。 ・羅臼町のスポーツ・文化の在り方検討協議会で推進体制などの方向性を確立する。 ・競技スポーツ推進のため、著名な講師等を招聘したスポーツ教室を開催する。
	・羅臼高等学校の要望に応じた学習機会の提供を行う。	・羅臼の歴史・文化・自然について継続して学習できる機会の提供を図る。 ・体験学習講座の周知の工夫を図る。 ・各種団体と連携した講座の開催を検討し、実施する。 ・資料を介して人と人をつなぐプログラムの検討を図る。	・高齢者に向けた講座・プログラム等についての周知を図る。 ・高齢者への聞き取りを行うきっかけとして、高齢者を対象とした講座等を実施する。	・継続的な文化財の保護活動を実施する。 ・郷土資料の台帳を作成する。 ・知床いぶき樽の演奏映像の整理を図り、活用を検討する。 ・地域文化財保存活用計画の策定市町村への調査を実施する。 ・資料館運営体制の確保についても検討を図る。 ・日本遺産『鮭の聖地』の物語を構成する標津町、根室市、別海町と連携し、郷土資料館の周知及び利用促進を図る。	・計画的な改修及び修繕を図る。 ・施設的环境について改善方法を検討する。	

2 0 2 5 年 度

社会教育・社会体育事業推進計画

2025 年度社会教育・社会体育事業月別予定一覧表

領域	事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
社会教育計画・条件整備	社会教育委員の会（兼図書館協会）会議	○						○		○			○
	単年度事業計画策定・各種事業反省評価								○				○
	学校開放事業		(		通					年		)	
	社会教育関係職員研修		(		随					時		)	
	学校教育行事補完事業						○		○				
	施設の利活用及び検討		(		随					時		)	
乳幼児教育 少年教育	家庭教育学級	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	らうす寺子屋 kids				○								
少年教育	ふるさと少年探険隊				○	○							
青年教育	高校生の水産教室	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	羅臼町20歳のつどい										○		
	芸術文化活動振興奨励業		(		随					時		)	
	リーダー養成事業		(		随					時		)	
	創作料理プロジェクト		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
団体育成・指導者養成	社会教育関係団体等の支援		(		随					時		)	

2025 年度社会教育・社会体育事業月別予定一覧表

領域	事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
基盤整備	スポーツ推進委員会	○					○		○				○
	調査・研究		(		随					時		)	
	体育施設の維持・管理		(		随					時		)	
少年教育／高齢者教育	根室管内スポーツ交歓大会					○							
	根室管内親睦ミニテニス交流会								○				
	クナシリ眺望駅伝競走大会							○					
指導者養成・ 団体育成	スポーツ団体の育成・支援		(		通					年		)	
	指導者（リーダー）養成事業		(		通					年		)	
総合型地域スポーツクラブ 協働事業	体育館利用団体会議 〈学校開放運営委員会、各団体総会時〉	○						○					
	各種スポーツ相談事業・各種スポーツ教室		(		随					時		)	
	子どもの体力向上事業		(		通					年		)	

社会教育事業

区分	社 会 教 育		
領域	社会教育計画・条件整備		
事業	諸会議	社会教育計画及び各種調査研究	学校開放事業
目 標	生涯学習の観点から、当町の社会教育の振興策を探り、地域に根差した推進方策を考える。	各種調査や事業の反省評価を行い、地域の実情に即した社会教育単年度計画の策定を行う。	・住民の生涯学習活動を推進するため、学校施設を開放し、学習の場として提供するための条件整備を図る。 ・地域住民の居住地域である学校体育施設を開放することにより、スポーツ・レクリエーション活動の促進を図り、健康・体力づくりの意識づけを図る。
内 容	○社会教育委員の会兼図書館協議会 ＜定例＞年3回以上 4月、10月、12月、3月 (予定) ・管内社会教育委員連絡協議会総会 5月26日 別海町 ・北海道市町村社会教育委員長等研修会 7月7日(月)～8日(火) 札幌市 ・北海道社会教育研究大会 11月7日(金) 今金町総合体育館ほか(今金町) ・北海道公民館大会 10月16日(木)～17日(金) 網走市	○単年度事業計画の策定及び各種事業の反省評価 R7 4月 単年度事業計画作成 11月下旬～12月上旬 予算編成に伴う事業反省評価 3月 社会教育事業反省評価票(2025年度)の発行 新年度の事業計画 R8 4月 単年度計画の発行(2026年度) ○各種事業のアンケート調査	○自主管理運営方式 ・運営委員会の開催 ・開放期間 4月～3月 ・開放時間 授業に支障のない範囲 ・開放施設 ①羅臼小学校 体育館、グラウンド、陶芸室、多目的ホール、和室、家庭科室、音楽室、図工室 ②春松小学校 体育館、グラウンド、和室、家庭科室 ③知床未来中学校 体育館、グラウンド、武道場、テニスコート
時期	随時	随時	通年
場所	役場他	—	町内各小中学校
対象	—	一般	18歳以上で利用を希望するグループ・サークル
定員	社会教育委員15名	—	原則として5名以上
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・地域課題に関する主体的な学習の促進及び調査・研究 ・解決に向けた取組等による委員活動の活性化	【社会教育計画中期計画年度別指標】	【社会教育中期計画年度別指標】 ・学校開放事業運営委員会の充実 ・学校開放の利便性向上と利用可能教室の拡充

社会教育事業

区分	社 会 教 育		
領域	社会教育計画・条件整備		
事業	社会教育関係職員研修	学校教育行事補完事業	生涯学習施設整備に関する検討
目 標	各種事業の充実及び社会教育振興に寄与するため、社会教育関係職員が各種研修会に参加し、研鑽を深め資質の向上を図る。	学校教育との連携を図り、町内の児童・生徒に芸術文化の鑑賞機会を提供し、心身の健全な発達及びより一層の情操と創造の心を育てる。	町内における文化施設（生涯学習施設）整備に関する方向性を検討する。 （町としての施設整備に関する方向性・考え方をまとめる。）
内 容	○社会教育関係職員の適正配置と研修機会の充実を図る。 ・管内社会教育主事会研修会 未定 ・北海道社会教育セミナー 5月29日（木）札幌市 ・道東ブロック社教主事等研修会 9月中旬 中標津町 ・地域生涯学習活動実践交流セミナー 2月26日（木）～27日（金） ・管内社会体育担当者研修会（年2回） ・釧根支部公民館長・公民館職員研修 ・管内図書館協議会研修会（年5回） ・社会教育関係団体が主催する研修会	<学校教育行事運営委員会への支援> ○少年芸術劇場 ・と き 9月中旬 ・ところ 羅臼小学校体育館 ・内 容 ※演劇・音楽隔年実施 音楽予定 小中全児童・生徒 ○児童・生徒美術書道展 ・と き 11月上旬予定 ・ところ 羅臼町民体育館1階会議室 ・内 容 学校授業で制作した作品の展示（羅臼町総合文化祭一般作品展と合同展示）	・春松小学校・羅臼幼稚園有効活用検討会議において、町内関係団体の意見聴取や会議での意見反映に向けた取り組みを行う。
時期	—	—	—
場所	—	—	—
対象	社会教育関係職員	小中学生	文化施設（生涯学習施設）
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・積極的な研修機会の確保による職員の資質の向上 ・社会教育主事、図書館司書等の専門職員の適正配置。	【社会教育中期計画年度別指標】 ・小中学校と教育委員会による運営委員会の組織 ・少年芸術劇場、児童生徒美術書道展の開催	【社会教育中期計画年度別指標】 ・文化団体や各種団体との懇談・情報交換を行う。

社会教育事業

区分	社 会 教 育		
領域	乳幼児教育～成人教育	少年教育	青年教育
事業	家庭教育支援事業	第41回ふるさと少年探険隊	第41次高校生の水産教室
目 標	子育てに関する事業を展開する関係機関と連携をとりながら、子どもの自律・親育ち応援チーム「緒むすび」を中心に子育てに関する情報提供を行い、各種事業を通じて家庭教育支援を図る。	ふるさとの自然に親しみ、豊かな心を養い、子どもたちの郷土愛、忍耐力、協調心を育てる。	次代を担う高校生を対象に、基幹産業である漁業を中心とした地元の産業に関する知識や技術を学ぶ機会とし、漁業の現状について理解を深め、ふるさとへの愛着を深める。また、特色ある取り組みの情報発信に努める。
内 容	○かかわりあそびプログラム ・対象：未就園児とその保護者 ・内容：五感を育てる関わりあそび等 子育て支援センターとらいうで毎月1回程度の頻度で開催。 運動プログラム：4/23、5/7、6/11、7/23、8/27、9/10、10/1、11/26、12/3、1/21、2/25、3/11 ○子育て支援ネットワーク会議（主管：保健福祉課）年2回 ・情報共有した課題の解決に向けた事業の実施 ○羅臼町子どもの自律・親育ち応援チーム「緒むすび」 ・子どもとメディア学習会（町内小中学校にて開催） ・生活状況アンケート ・親子で体験できる学習の場の提供	○相泊から知床岬まで踏破する、5泊6日の野外体験事業 ・「わんぱくコース」 小4以上 モイルス湾をベースに様々な自然体験活動を行う ・「チャレンジコース」 小6以上 知床岬先端まで踏破する。 <u>令和7年7月30日～8月4日を予定。</u> ＜重点課題＞ ※環境教育の充実 ※子ども会指導員の体制強化 ※地域スタッフ確保と育成（チャレンジスタッフと医療スタッフの充実） ※高校生ボランティアの積極的勧誘	《第41次》 ○高校・漁協・教委（三者共催） ○水産専科生：7名 ・開級式・記念講演 ・気象学習 ・ロープワーク①～② ・ダイビング講習①～④ ・ウニ種苗センター見学 ・ダイビング実習①～⑤ ・市場・加工場見学 ・ブランド化・マーケティング学習 ・EM菌石鹸づくり ・サケ採卵学習 ・鮭トバ加工実習①② ・海難防止講習 ・郷土料理教室（漁協女性部） ・プレゼン学習 ・SDGsプログラム ・閉級式・記念講演 他 ※国家資格「潜水士」の取得プログラムを実施する。
時期	4月～3月	7月～8月	4月～12月
場所	各幼稚園・小中学校等	モイルス湾・知床岬	羅臼高校・町内全域
対象	園児・児童・生徒を持つ親	小学4年生～中学3年生	羅臼高校3年生（専科生7名）
定員	—	34名	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・体験型講演会等の参加しやすい講演会の企画・開催 ・「緒むすび」の活動の積極的な情報発信 ・デジタルデバイスの有効活用についての学習機会の検討	【社会教育中期計画年度別指標】 ・高校生スタッフの募集 ・環境教育を含めた事業充実のための内容検討 ・スタッフの知識・スキル向上のための研修内容の検討 ・継続的に参加可能なスタッフの発掘・養成	【社会教育中期計画年度別指標】 ・事業内容の充実と継続

社会教育事業

区分	社 会 教 育		
領域	青年教育		
事業	羅臼町 20 歳のつどい	芸術文化活動振興奨励事業	うるとらうす！実行委員会
目 標	20 歳となったことを祝い、社会人としての有意義な人生を歩むよう誓い、励ます機会とする。	町民の自発的、創造的な芸術・文化活動の促進を図るため、町民を対象とした芸術・文化的な事業を行う団体に対して助成を行う。	町内の青年層に対し芸術文化に触れる機会を提供するとともに、事業を通して人との繋がりを築き、若い世代の郷土愛を創出し、まちづくり人材としての成長に繋げる。
内 容	○式典 ○記念講演 ○アトラクション ・実行委員会による実施 地元在住の 20 歳のつどい対象者を中心に実行委員会を結成し、対象者が主体となった式典づくりを目指す。また、Youtube でのライブ配信を行う。 ※ 20 歳学園事業との連動を図る	○「芸術・文化活動振興奨励助成金交付要領」により運用。予算の範囲内。 ・町内で活動するサークル・団体の動きを把握し、情報の収集・助成についての PR を行う。 ※広報による住民周知。 ・申込み期間を設け、期間中に申込みがあった団体からの選定を行う。	○「第 7 回うるとらうす！」 青年層主体（高校生含む）の実行委員会を組織し、芸術文化鑑賞事業を開催することで、青年層の芸術文化への興味関心を高めると共に、社会教育活動への参画を促す。
時期	令和 8 年 1 月 7 日	随時	随時
場所	羅臼町立春松小学校	—	羅臼町立春松小学校
対象	20 歳（H17.4.2.～H18.4.1 生まれ）	青年～一般	高校生・青年
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・実行委員会への指導・助言	【社会教育中期計画年度別指標】	【社会教育中期計画年度別指標】 ・実行委員会への指導・助言

社会教育事業

区分	社 会 教 育		
領域	青年教育	青年教育	少年教育
事業	リーダー養成事業	創作料理プロジェクト	らうす寺子屋 kids
目 標	ボランティア活動や教育委員会各事業を通じて、組織的な学習活動の助長を図り、リーダーを養成する。	知床羅臼の風土や食・自然の素晴らしさについて再発見すること、課題や問題点に対し共に助け合う集団行動を体験的に学びとることをねらいとし、「ふるさと学習」につながる取り組みとする。	長期休業中の子どもたちに、学習習慣や運動習慣等を含めた体験学習を通して、生活習慣を整える学びを提供する。
内 容	○羅臼町活性化ワーキンググループへの積極的支援 ・こんぶフェスタ等の事業支援 ・活動に関する情報発信等への協力 ・青年団体としての世代交代・転換期の悩み事への対応 ○町内の青年団体間の連携強化事業 ・青年団体との意見交換 ・各種交流事業の実施	【実施内容】 高校生の自由な発想により料理を創作し、地域素材の新たな活用方法や情報発信、地域の活性化を図るとともに、地域の食と文化についての学習を行う。「らうす大漁焼き」の名物化を目標にした実践販売活動と町外での羅臼町の PR も含めた成果発表の場を積極的に創出し自身の体験を通じた学びを提供する。 5 月 事業開始 6 月 らうす大漁焼き新味開発 レシピ開発 8 月 道外イベント出店準備 9 月 羅臼産業祭 羅来楽出店 10 月 世田谷イベント出店 随時 校外研修／各行事出店／商品開発及びプロモーション ・らうす大漁焼きの名物化 ・新レシピ開発	【日程】 夏休み（7 月 30 日～8 月 1 日）予定 合計 3 日間で実施 ※応募要件は、原則全日程を通してプログラムに参加できることとする。 【内容】 運動・体験・学習・親子プログラムで構成する。親子プログラムについては、3 日間のうち 1 日設定する。 ※「かつどうノート」を活用し、事業効果を検証する。 ※成果指標を標語「早寝早起き朝ごはん」を参考とし、朝食摂取率と合わせて、起床・就寝時間も加える。 【スタッフ】 個人（PTA 会員等）ボランティア・読み聞かせサークル・らいうに依頼。
時期	随時	4 月～2 月	夏休み 3 日間
場所	町内全エリア	羅臼高校他	羅臼町民体育館
対象	高校生以上で指導者を志す者	羅臼高校	小学校 1～3 年生と保護者
定員	—	—	15 名
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・各種事業との連動 ・団体間の交流促進	【社会教育中期計画年度別指標】 ・商品の販売を通した学習機会の提供 ・地元食材を使ったメニュー開発及び発信による羅臼町 PR	【社会教育中期計画年度別指標】 ・生活習慣を整える学びの提供

社会教育事業

区分	社 会 教 育		
領域	団体育成・指導者養成	基盤整備（推進体制）	
事業	社会教育関係団体の支援	コミュニティスクール	
目 標	団体をリードする指導者の発掘・養成を推進し、自主自立を目指した継続的な支援、育成を図る。	学校と地域が連携し、一体となった学校運営を行うことで、児童生徒の教育環境・体制の整備を図る。	
内 容	【団体支援】 ○子ども会育成協議会 ○女性団体連絡協議会 ○文化協会 ○PTA 連合会 ○羅臼スポーツクラブらいず ○スポーツ協会 ○スポーツ少年団本部 ○中体連 ○知床スマイル・エコプロジェクト ○羅臼町活性化ワーキンググループ ○JOIN-RAUSU 美活塾 【事業支援】 ●各種団体運営費補助 ●各種管外大会派遣費助成 ●子ども会各種関連事業 ●管内スポーツ交歓大会 ●クナシリ眺望駅伝競走大会 ●管内親睦ミニテニス交流会 ●羅臼町総合文化祭	○学校運営協議会 4月、11月、3月の開催 ○コーディネーターの活動 年間を通して、学校と地域を繋げる活動を行う。 ・鮭の稚魚放流事業 ・地域食材を活用した調理実習 ・職業体験授業の調整 ○地学協働活動部会 高校の総合的な探求の時間における地域の教育資源の掘り起こしや授業への取り入れ方等、コーディネーターや関係者と協議検討を行う。 ※より地域と学校が一体となった学校環境となるようにコーディネーターとの連携強化や人材発掘を行う	
時期	随時	随時	
場所	—	—	
対象	社会教育関係団体	園児・児童・生徒	
定員	—	—	
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・活動補助金確保 ・各団体の状況及びニーズ、課題の把握 ・自主自立の活動に対する支援と協力 ・団体が主催する事業の連携	【社会教育中期計画年度別指標】 ・各学校での授業等に講師として対応できる人材の確保	

社会教育事業

区分	社会体育		
領域	基盤整備		
事業	諸会議	調査・研究	体育館利用者懇談会
目 標	社会体育振興の視点から当町の体育・スポーツ並びに健康・体力づくりの振興方策を探り、地域に根差した社会体育の推進に努める。	各種調査により、社会体育事業を効果的に実施する方策を検討する。	利用団体との意見交換の場を確保することで、町民ニーズに沿った施設運用に努める。
内 容	○スポーツ推進委員会議 ＜定例＞年3回以上 4月、9月、11月、3月（予定） ・管内スポーツ推進委員総会・研修会 6月5日（木） 標津町 ・全道スポーツ推進委員研究協議会 未定 知内町 ・管内スポーツ推進委員役員会 11月29日（土） 中標津町	○スポーツニーズの調査・研究 ・スポーツ推進委員と連携した状況把握 ○スポーツ団体が抱える課題（要望）調査 ・スポーツ協会、スポーツ少年団総会、学校開放運営委員会等での意見交換 ○運動適性テスト・新体力テスト実施によるデータ収集	○利用者団体からの意見聴取と反映
時期	随時	随時	随時
場所	役場他	—	らうすぽ他
対象	—	一般	体育館利用者懇談会
定員	スポーツ推進委員7名	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・地域のスポーツ課題について調査・研究及び事業協力（年3回開催）	【社会教育中期計画年度別指標】 ・各スポーツ事業満足度アンケートの実施 ・スポーツニーズ把握のための調査・研究 ・利用団体からの意見聴取と反映	【社会教育中期計画年度別指標】 ・利用団体からの意見聴取と反映

社会教育事業

区分	社会体育		
領域	基盤整備		少年教育～高齢者教育
事業	体育施設の維持・管理	羅臼町のスポーツ・文化の在り方検討協議会(中学校部活動の地域移行)	各種関連事業(機会提供事業)
目 標	各スポーツ施設の整備及び効果的な開放の促進を図る。	中学校部活動の地域移行について、情報収集及び発信を実施し、当町にあった導入の形を検討する。	練習成果発表の場及び町民相互の交流機会の提供を図る。
内 容	○羅臼町民体育館指定管理者業務 5期目 R7～R9 指定管理事業者：NPO 法人羅臼スポーツクラブらいず ○体育施設の維持・管理 ・羅臼町民体育館 ・スキー場 ・総合運動公園 ・温水プール	○羅臼町のスポーツ・文化の在り方検討協議会での協議検討 ・羅臼町に合った中学校部活動の地域移行導入方法について検討する。 ・羅臼町における少年期から成人期までのスポーツ・文化の在り方について検討を進める。	○根室管内スポーツ交歓大会 8月31日(日) 羅臼町 ○根室管内親睦ビジネス交流会 11月22日(土) 別海町 ○クナシリ眺望駅伝競走大会 10月上旬 羅臼町内 ○NPO 法人羅臼スポーツクラブらいず協働事業 ○スポ協加盟団体各種町民大会 ※上記大会への企画運営等の支援を行う。
時期	—	—	—
場所	町民体育館他	—	—
対象	—	—	—
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・老朽化したスポーツ施設の計画的な修繕・障がい者を意識した整備及び適正な維持管理 ・スポーツ施設の効果的な管理運営	【社会教育中期計画年度別指標】 ・中学校部活動の地域移行をはじめとした羅臼町のスポーツの在り方の検討	【社会教育中期計画年度別指標】 (クナシリ駅伝) ・学校等関係機関との協力による参加奨励 ・「らいず」が主催する各種事業の企画・運営に対する協力・支援及び連携

社会教育事業

区分	社会体育		
領域	団体育成・指導者養成		総合型地域スポーツクラブ協働事業
事業	スポーツ団体の育成及び支援 (スポーツ協会・スポーツ少年団加盟団体)	地域スポーツ指導者の発掘及び養成事業	総合型地域スポーツクラブ協働事業
目 標	団体をリードする指導者の発掘・養成を推進し、自主自立を目指した継続的な支援、育成を図る。	地域リーダーやスポーツ活動をけん引する指導者の発掘・養成を推進する。	総合型地域スポーツクラブとの連携によるスポーツ振興を図る。
内 容	○スポーツ協会加盟団体の育成・支援 ・各種大会、教室の連携支援 ○スポーツ少年団加盟団体の育成・支援 ・各種リーダー養成事業、交流事業への参加奨励と参加体制の確立 ○総合型地域スポーツクラブとの連携及び支援 ・各種イベント、教室等への事業協力 ・スポーツ振興を展開していくための指導・助言 ・中学校部活動の地域移行に関する協議検討	○各種研修会等の情報提供 ・日本スポーツ協会公認資格 ・NPO法人認定資格等の民間資格 ・ジュニアリーダースクールへの参加体制の確立と支援 ・各種研修会等の参加奨励 ・各体育団体（スポ協、スポ少、らいず等）間による協力体制の推進	○総合型地域スポーツクラブと情報共有・情報交換を図り、町民の健康増進やスポーツに取り組む機会の提供等、効果的な事業の開催を進める。 ・定期的な意見交換の場の開催 ・体育館の安定的な管理運営に向けた連携。
時期	通年	通年	通年
場所	—	—	—
対象	体育団体	18歳以上～高齢者	幼児～高齢者
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・自主的で活発な活動の促進 ・少年団活動の支援 ・子どもの体力向上事業の推進 ・各種指導者養成事業・リーダー研修会の開催及び参加奨励 ・活動実態の調査・研究	【社会教育中期計画年度別指標】 ・各種指導者研修会、ニュースポーツ講習会等の実施や参加奨励 ・ニーズに応じた生涯スポーツにつながる各種資格認定制度の情報提供	【社会教育中期計画年度別指標】 ・クラブ主催事業との連携及び支援 ・永続的な活動・運営のための支援

社会教育事業

区分	社会体育		
領域	総合型地域スポーツクラブ協働事業		
事業	各種スポーツ相談事業・各種スポーツ教室	子どもの体力向上事業	
目 標	各地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を活性化させるとともに、自主活動の促進を図る。	運動習慣及び望ましい生活習慣の定着を図るため、児童生徒の体力・運動能力の向上を推進する。	
内 容	【指定管理委託事業】 ○「ハルデックウォーキング」講習会 ○高齢者スポーツ出前事業 ○ニュースポーツ体験会 【羅臼ＳＣらいず自主事業】 ○どっこチャレンジ広場 ○水中運動教室 等	【羅臼ＳＣらいず自主事業】 ○らいずキッズクラブ「とことこ」 ○らいずとスポーツ推進委員の共催事業として体力測定会を実施予定。	
時期	随時	通年	
場所	町内各学校 他	町内各学校 他	
対象	幼児～高齢者	幼児～小学生、一般	
定員	—	—	
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・教室開催、指導者派遣等の各種スポーツ相談事業 ・学校開放事業と連動した自主的活動の支援 ・町民やサークルに対する相談窓口の周知 ・保健福祉行政や社会福祉協議会と連携した出前教室の開催	【社会教育中期計画年度別指標】 ・「らいず」と連携した事業の推進	

2025 年 度

芸 術 文 化 事 業 推 進 計 画

2025 年度芸術文化事業月別予定一覧表

領域	事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
少年教育	ふるさと体験教室「知床 kids」			○	○	○	○		○	○	○	○	
高年齢者教育 （乳幼児教育）	羅臼町総合文化祭								○				
高年齢者教育 （少年教育）	芸術文化鑑賞事業		（		随					時		）	
青年教育 （成人教育）	公民館相談事業（各種相談事業）		（		通					年		）	
	各種教室・講座等アンケート調査		（		随					時		）	
高年齢者教育 （青年教育）	各種講座		（		随					時		）	
高年齢者教育	こまぐさ学級	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	

芸 術 文 化 事 業

区分	芸 術 文 化		
領域	少年教育	乳幼児教育～高齢者教育	少年教育～高齢者教育
事業	ふるさと体験教室「知床 ^{しつこ} kids」	第 54 回羅臼町総合文化祭	芸術文化鑑賞事業
目 標	らうすの自然・歴史・文化などを楽しみながら学習し、郷土の文化を愛する心を育てる。	町内の文化活動をしている個人・団体・グループが一堂に会し、日頃の活動成果の発表機会を提供し、活動の助長を図る。	多くの人に知られている著名人を講師として招き、現代社会に即応できるような知識・見聞を深める。または、生の優れた音楽を鑑賞させる機会を提供する。
内 容	○環境省、知床財団、郷土資料館との連携の上、実施する。 1 開級式・知床半島クルーズ（6月） 2 アクアマリンふくしまとの交流（7月） 3 ルサ園地で遊ぼう（8月） 4 知床自然愛護少年団との交流（9月） 5 羅臼湖散歩（11月） 6 こまぐさ学級との交流（12月） 7 冬の生き物観察（1月） 8 スノーシュートレッキング（2月）（全8回） ※中学生リーダー（kids 卒業生）の募集	○前年度参加の実行委員へ呼びかけながら実行委員会方式で開催する。（文化協会加盟団体・出展グループ・各種サークル等） ・オープニングセレモニー ・一般作品展 ・フリーマーケット ＜関連事業＞ ・第 42 回町民小劇場 ・第 20 回子ども祭り ・第 24 回らうす古本市	○芸術文化鑑賞事業への補助。 予算：270万円
時期	6月～2月	10月31日～3日（案）	通年
場所	町内全域	町民体育館	町内各学校 他
対象	小学4～6年生	全町民	小学生～高齢者
定員	25名	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・郷土の歴史や生活文化に触れる・体験する機会の提供	【社会教育中期計画年度別指標】 ・個人及び団体の日頃の活動成果の発表機会の提供 ・文化団体と連携した芸術・文化を体験する機会の提供	【社会教育中期計画年度別指標】 ・関係団体と連携して生の芸術・文化の鑑賞機会を提供する。

芸 術 文 化 事 業

区分	芸 術 文 化		
領域	青年教育～成人教育	青年教育～高齢者教育	高齢者教育
事業	公民館相談事業（各種相談事業）	各種講座	こまぐさ学級
目 標	各種グループ・サークルの自主的な活動を助長し、住民のふれあい活動を促進する。	趣味的活動や資格取得等、各種講座を開催することで、実生活に即した生きがい感をもてる学びの機会を提供する。	趣味活動、教養講座を通じて高齢者が生きがい感をもてる機会を提供する。
内 容	○町内のグループ、サークルが自主的に趣味的講座の開設や学習会を実施するにあたり、資金面の相談や物品貸出し等、社会教育課として支援可能な範囲で相談事業を進める。 ○謝金の補助事業（報償費） ・1 相談 20,000 円限度 ・1 回につき 5,000 円程度 ・同一グループ・サークル年 1 回 ○各種教室及び各種講座開催時に調査を実施し要望講座等の確認を行う。 ・事業の満足度アンケート調査 ・要望講座等の確認調査	○町民ニーズに合わせた講座を実施予定。 ・一般町民向け、文化団体とタイアップした講座の仕掛けなどを行う。 ○ガラスアクセサリ製作体験 ○「リクエスト講座」の周知及び実施	○プログラムの内容については、前年度参加のこまぐさ学級生にアンケート調査をし決定。 （文化祭に出展する為、クラブ活動に取り組む） ○異世代交流事業の実施。 ・両幼稚園児「絵本の読み聞かせ」、高校生との交流 ○奉仕活動の実施。 （プログラム内容） ① 4 月 開級式 ② 5 月 高校生と交流 1 回目 ③ 6 月 高校生と交流 2 回目 ④ 7 月 バス遠足 ⑤ 8 月 郷土資料館見学 ⑥ 9 月 クラブ活動 1 回目 ⑦ 10 月 クラブ活動 2 回目 ⑧ 10 月 羅臼幼稚園・高校生と交流 ⑨ 10 月 春松幼稚園・高校生と交流 ⑩ 12 月 知床 kids と交流 ⑪ 1 月 レクリエーション ⑫ 2 月 閉級式
時期	通年	4 月～3 月	4 月～2 月
場所	町内全域	町内各学校、町内会館 他	町民体育館他
対象	全町民（5 名以上のグループ）	全町民	高齢者
定員	—	講座に合わせて設定	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・芸術・文化に関する各種教室・講座を企画・開催するほか、各種グループ等の相談に応じるなど、自主的な活動を促進・支援する	【社会教育中期計画年度別指標】 ・講座や実習体験を通じ知識の向上や趣味の充実を図るための機会の提供	【社会教育中期計画年度別指標】 ・こまぐさ学級を通じて芸術・文化に親しむ活動や異世代交流による知恵や技術、生活文化に関する伝承活動をはじめ、いきがい感の持てるプログラムを提供する。

芸 術 文 化 事 業

区分	芸 術 文 化		
領域	団体育成・指導者養成		
事業	新たな創作活動の振興（講師招聘事業）		
目 標	新たなニーズに対応した芸術・文化活動への導き・支援を行う。		
内 容	○各種教室・講座と連動して新たな創作活動を助長し、活動の継続化（サークル化）へとつなげる。		
時期	通年		
場所	町内各学校、町民体育館 他		
対象	全町民		
定員	—		
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・町外からの講師招聘も視野に新たな魅力ある教室・講座・講習会等を企画・開催し、町内における芸術文化活動・創作活動を振興し活性化を図る。 ・郷土の風土・生活文化を生かした創作活動の振興を模索する。		

2 0 2 5 年 度

図 書 館 事 業 推 進 計 画

2025 年度図書館事業月別予定一覧表

領域	事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
基盤整備 (施設・推進体制)	図書資料整備事業		(		通					年		)	
	蔵書検索システムの継続・オンラインシステムを活用した情報発信		(		通					年		)	
	図書館施設の有効活用		(		通					年		)	
	図書館資料除籍基準(規則)策定		(		通					年		)	
	図書館の維持管理		(		随					時		)	
	羅臼町子どもの読書活動推進計画		(		通					年		)	
乳幼児(家庭)教育・少年教育	ブックスタート事業			○			○			○			○
	ちいさい子のおはなし会				調			整			中		
	本との出会い講座・講演会							○			○		
	図書館のひみつ学習				調			整			中		
	図書館バス利用ガイダンス	○	○										
	読み聞かせ連携支援		(		通					年		)	
	家読(うちどく)推進事業 ① 家読セットの貸出		(		通					年		)	
	② セカンドブック事業		○		○								
青年教育・乳幼児	③ 家族みんなで読書登山							○					
教育青年	中高生の読書活動推進事業				調			整			中		
乳幼児(家庭)教育・高齢者教育	図書館バス巡回事業		(		通					年		)	
	除籍図書還元推進事業 ①第24回らうす古本市								○				
	②ミニ古本市							○					
	③除籍図書還元専用本棚での還元		(		通					年		)	
	図書展示事業		(		随					時		)	
	図書館相談事業		(		随					時		)	
	図書館まつり							○					

図 書 館 事 業

区分	図 書 館		
領域	基盤整備（施設）		基盤整備（推進体制）
事業	図書資料整備事業	蔵書検索システムの継続・オンラインシステムを活用した情報発信	羅臼町子どもの読書活動推進計画
目 標	町民一人一人の資料要求にきめ細かく対応し、個人学習を支援する。	町民の利便性を保持するため、資料整備及び蔵書検索機能の継続と充実を図る。	地域全体が包括的に子どもの読書活動に関する価値観を共有し、子どもが読書に親しみながら成長するよう環境整備を図るため策定する。
内 容	○資料収集内容 購入計画 年間 1,200 冊 ・学校教育に必要な資料の充実 ・高齢者向け大活字本の整備 ・生活課題及び社会情勢に対応する本 ・中高生の読書推進事業に対応する本 ・赤ちゃん絵本等子育てを支援する本 ・生涯学習に役立つ本 ・雑誌 13 誌（月刊、隔月誌など） ・視聴覚資料 約 20 枚 ○蔵書の新鮮化を図る ・本の価値を見極めながら除籍を行う ○学習支援の方法 ・図書館間の相互貸借を利用し町民の要望に応える ・予約・リクエストサービスの充実 ○アイヌ文化関係資料保存活用事業による資料整備 図書資料 200 冊程度 視聴覚資料 10 点程度	○蔵書検索システムの充実 ・誰もが使いやすい設定の創意工夫 ○羅臼町図書館 システム内のコンテンツを活用した情報発信 ・新刊情報 ・開館情報 ・イベント情報 ・ブックリスト発信 ○学校図書館 各学校で蔵書検索システム及び羅臼町図書横断検索の活用を進め、定着を図る。 ・春松小～羅臼町図書横断検索システムの活用 ・知床未来中～羅臼町図書横断検索システムの活用 ・羅臼小～羅臼町図書横断検索システムの活用	○年度検証 ・「緒むすび」アンケートによる町内幼児・小中学生の読書への意識調査（1 1 月） ・関連する各種事業の反省評価及びそれを踏まえた新年度の事業計画（2 月） ○第 3 期羅臼町子どもの読書活動推進計画 計画期間 4 年間 2025（R7）～2028（R10）年度 【参考】 ・社会教育中期計画 4 年間 2024（R6）～2027 年度（R9）
時期	通年	通年	通年
場所	図書館	図書館・小中学校	—
対象	全町民	全町民	乳幼児～青年
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・町民の要求に応じたきめ細やかな対応	【社会教育中期計画年度別指標】 ・町民の利便性を保持し、図書館活動の推進 ・システム内のページを活用した図書情報の発信	【社会教育中期計画年度別指標】 ・子どもの読書活動を進める方向性を示す

図 書 館 事 業

区分	図 書 館		
領域	基盤整備（施設）		
事業	図書館施設の有効活用	図書館資料除籍基準（規則）制定	図書館の維持管理
目 標	多様化する図書館での過ごし方に対応した館内環境の整備を図る。	資料の除籍に関する方針を検討する。	図書館の適正な維持管理を図る。
内 容	○館内の利用促進 ・閲覧スペース ・視聴覚スペース ・ドリンクスペース ・おはなしのへや ・多目的室 ○多目的室活用の推進 ・学習室としての開放 ・読書振興に関わるイベント開催	○司書の専門的知識に拠っていた除籍基準を明確化し、統一した基準を策定するため、策定に向けた情報収集と基準の方針を検討する。 R7 年度 制定予定	○日常管理（清掃・草むしり・除雪等） ○定期的な設備点検の実施 ○避難訓練（火災・地震・津波等）
時期	通年	通年	通年
場所	図書館	—	図書館
対象	全町民		—
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・多様化する図書館での過ごし方に対応した館内環境整備	【社会教育中期計画年度別指標】 ・資料の除籍に関する方針を示す	【社会教育中期計画年度別指標】 ・図書館の維持管理

図 書 館 事 業

区分	図 書 館		
領域	乳幼児（家庭）教育～少年教育		
事業	ブックスタート事業	本との出会い講座・講演会	図書館のひみつ学習
目 標	絵本を仲立ちに、赤ちゃんと保護者が温かく楽しい時間を過ごし、親子の絆を深めてもらうきっかけづくりを行う。	親子の絆を深める家庭での読み聞かせを普及するため、絵本について学ぶ機会をつくる。	図書館の仕事について知ってもらい、適切に利用できるよう援助する。また、本を紹介し読書の動機付けを図る。
内 容	○スリーステップで実施 1 ハッピー手づくり絵本教室 ・実施日 6月19日 10月10日 2月12日 ・場 所 子育て支援センター ・内 容 妊婦に絵本の制作を指導 赤ちゃんへのプレゼントとして作成する 2 ブックスタート ・実施日 年4回保健福祉課乳幼児相談に合わせ実施（6月9月12月3月） ・場 所 らうすぽ ・内 容 司書が赤ちゃんに読み聞かせをし、家庭での読み聞かせを動機づけ ・配付物 パック（絵本1冊、絵本リスト、図書館利用案内、登録用紙、アンケート、バッグ） 3 フォローアップ事業 ・実施日 月1回 ・場 所 子育て支援センター ・内 容 図書館バス巡回貸出と絵本の読み聞かせ	○音楽を交えた絵本の読み聞かせ ・実施日 10月18日（土） ・場 所 図書館 ・内 容 音楽を交えた絵本の読み聞かせ ・講 師 絵本作家 サトシン 氏 ○講座の実施 ・実施日 入園説明会等 ・場 所 幼稚園 ・内 容 言葉と心を育む読み聞かせについて *幼稚園と連携して企画	○小学3年生の学習単元に合わせ実施 ・実施日 5月以降予定 *学校と調整し決定 ・場 所 各学校教室 ・内 容 図書館の機能 司書の仕事 分類 図書館利用案内 読み聞かせ・本の紹介
時期	通年	10月・1月	調整中
場所	図書館・子育て支援センター等	図書館	各小学校
対象	乳幼児・保護者	幼児・保護者	小学3年生
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・絵本を仲立ちに親子の絆を深め、家庭での読み聞かせの定着	【社会教育中期計画年度別指標】 ・読書への興味づけを図る機会提供	【社会教育中期計画年度別指標】 ・図書館の仕事を知る機会の提供

図 書 館 事 業

区分	図 書 館		
領域	乳幼児（家庭）教育～少年教育		乳幼児～少年・青年教育
事業	家読（うちどく）推進事業 ①家読セットの貸出	家読（うちどく）推進事業 ②セカンドブック事業	家読（うちどく）推進事業 ③家族みんなで読書登山
目 標	図書館が選定した本のセット（家読セット）を特製バックに入れて、各所に設置し保護者の利用を促し、家庭での読み聞かせの普及を図る。	小学校入学の節目に、児童が希望する本と特製バックを配付し、読書に親しむきっかけを作り、家読の普及を図る。	読んだページ数をメートルに換算する読書登山の普及を図り、家庭で楽しく読書に取り組んでもらう。併せて蔵書検索システムの活用など図書館利用の促進を図る。
内 容	○対象者 図書館来館者・幼稚園保護者 ○セット内容 絵本 4 冊、紙芝居 1 冊 テーマや年齢に沿ったものにする ○セット数 幼稚園 2 園 6 セットずつ 計 12 セット 図書館 10 セット ○設置場所 幼稚園 図書館（貸出カウンター前） ※セットの入れ替えは幼稚園と相談し時期を決定する。	○内容 ・図書館バス利用ガイダンスで図書館特製バックとおすすめ本リストを配付する。 ・おすすめ本リストから対象児童に 1 冊選んでもらい、贈呈する。	○内容 ・R6 年度導入の読書通帳サービスを活用した取り組みを検討する。
時期	通年	5 月、7 月（予定）	10 月（予定）
場所	各幼稚園・図書館	各小学校	図書館
対象	乳幼児・保護者	小学校 1 年生	乳幼児～成人
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・本と出会う機会を提供し、各家庭での読み聞かせ及び読書習慣の定着を図る	【社会教育中期計画年度別指標】 ・本と出会う機会を提供し、各家庭での読み聞かせ及び読書習慣の定着を図る	【社会教育中期計画年度別指標】 ・本と出会う機会を提供し、各家庭での読み聞かせ及び読書習慣の定着を図る

図 書 館 事 業

区分	図 書 館		
領域	乳幼児（家庭）教育～少年教育		乳幼児（家庭）教育～高齢者教育
事業	図書館バス利用ガイダンス	読み聞かせ連携支援	図書館バス巡回事業
目 標	町内の子ども達に、公共施設を適切に利用する習慣や社会性を身に付けてもらうため、利用指導を行う。	本の紹介や読み聞かせを行い、読書の動機付けを図る。また、司書との交流を図り図書館に親しみを持ってもらう。	学校や幼稚園を中心に巡回するとともに、子育て世帯や高齢者など図書館から離れた地区に住む町民等へ、図書館サービスを提供し、読書に親しむ環境づくりを進める。
内 容	○幼稚園児・小学校１年生に実施 ・実施場所 幼稚園・小学校 羅臼幼稚園 4/15（年中）4/16（年長）5/13（年少） 春松幼稚園 4/17（年中・年長）5/15（年少） 羅臼小学校 5/15 春松小学校 5/8 ○内容 ・図書館バスの使い方 ・本の扱い方等 ・小学校１年生での実施の際には、図書館特製バックとおすすめの本リストを配付する（家読推進事業②）	○読み聞かせ訪問を行うサークルと連携し、活動支援をする ・春松小学校 年間 27 回予定 ・羅臼小学校 年間 24 回予定 ・羅臼幼稚園 年間 2 回程度 ○一校一園化に向けた読み聞かせ活動についての協議	○利用対象 障がいのある方、運転免許がない高齢者、就園前の子どもを持つ家庭、図書館から離れた地区の町民 ○巡回場所 19 か所 ○巡回周期 小学校・幼稚園・へき地個人宅 月 2 回 中学校、高齢者福祉施設、子育て支援センター 月 1 回
時期	4 月・5 月	通年	通年
場所	各幼稚園・小学校	幼稚園・各小学校	町内
対象	幼稚園児・小学校１年生	幼稚園児・小学生	全町民
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・公共施設の適切な利用の習慣付け	【社会教育中期計画年度別指標】 ・読書への関心を高めるための機会提供として学校やサークルと連携し、活動を支援	【社会教育中期計画年度別指標】 ・貸出サービスの充実

図 書 館 事 業

区分	図 書 館		
領域	乳幼児（家庭）教育～高齢者教育		
事業	除籍図書還元推進事業	図書展示事業	図書館相談事業
目 標	限られた資源を有効利用しようとするリサイクルの時代に、除籍本や雑誌を町民に還元する事により再活用してもらい、地域の環境について気づき、この活動を通して図書館活動への関心をもってもらおう。	四季の行事や社会情勢に即した本、受賞の本など話題の本をテーマに沿って展示し、図書館の利用促進を図る。	学校等の読書相談及び町民の調べものや利用相談にきめ細かく対応し、生涯学習の推進を図る。
内 容	○除籍した本を無料還元 ・内 容 (1) 第 24 回らうす古本市（総合文化祭同時開催）11 月 (2) ミニ古本市（図書館単独開催）10 月 19 日 (3) 役場ロビーにて除籍図書還元専用本棚を設置し除籍図書を還元する。	○図書館システム内のブックリスト機能と連動させ、随時展示を企画	○予約・リクエスト、参考調査、利用相談の実施 ○図書館サービスの拡充 ・インターネット予約サービス ○学校司書と連携し、各種学校授業に対応した調べものや資料提供を行う ○その他 ・インターンシップの受入れ ・小学校の図書館見学受入れ ○一校一園化に向けた学校図書館整備への支援
時期	(1) 11 月 (2) 10 月 (3) 通年	通年	通年
場所	図書館・体育館	図書館	図書館
対象	全町民	全町民	全町民
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・除籍になった本等を町民還元し読書活動への関心を高める。	【社会教育中期計画年度別指標】	【社会教育中期計画年度別指標】

図 書 館 事 業

区分	図 書 館	図書館	図書館
領域	青年教育	乳幼児（家庭）教育	乳幼児（家庭）教育～高齢者教育
事業	中・高生の読書活動推進事業	ちいさい子のおはなし会	図書館まつり
目 標	・中・高生自らが図書館で読みたい本を選ぶことで、読書や図書館活動への興味関心を高め、中・高生の読書活動の推進を図る。	・本の紹介や読み聞かせを行い、読書の動機付けを図る。また、司書との交流を図り、図書館に親しみを持ってもらう。	・読書振興関連事業を実施するイベントを開催することで、図書館活動への興味関心を高め、町民の読書活動の推進を図る。
内 容	○中・高生に「読みたい本アンケート」を実施し、アンケートを基に図書を購入し、図書館内専用本棚「The Teens.」に配架する。 ・開催回数 「読みたい本アンケート」中学校1回、高校1回計2回（予定） ・時 期 夏休み前にアンケート実施で調整中	○絵本の読み聞かせ、手遊びなど ・開催回数 調整中 ・時 期 調整中	○図書館内で読書振興に関わる各種催しを実施する。 ・時 期 10/18～10/19 ・内 容 ①本との出会い講演会 ②古本市（図書館開催分） ③家読推進事業「家族みんなで読書登山」 ④ブックラリー など
時期	調整中	調整中	10月
場所	図書館	図書館	図書館
対象	中・高生	乳幼児・保護者	全町民
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・中・高生を巻き込んだ図書館活動を行うことで、中・高生の読書活動への興味・関心を高める。	【社会教育中期計画年度別指標】 ・ブックスタート後、読み聞かせを継続するための機会提供	【社会教育中期計画年度別指標】

2 0 2 5 年 度

郷土資料館事業推進計画

2025 年度郷土資料館事業月別予定一覧表

領域	事業名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
基盤整備 (推進体制)	諸会議		○						○				○
	埋蔵文化財保護活用事業		(		随					時		)	
	天然記念物指定鳥類保護事業	○	○	○	○					○	○	○	○
	国指定文化財保護事業		(		随					時		)	
	道指定天然記念物保護事業		(		随					時		)	
	町指定文化財保護活用事業		(		随					時		)	
	郷土資料館運営事業		(		通					年		)	
(推進体制) 基盤整備	郷土資料館管理事業		(		随					時		)	
高齢者 乳幼児	郷土資料館体験学習講座			○				○				○	
高齢者教育 少年教育・	社会教育事業等との連携		○		○	○							
高齢者教育 少年教育・	体験活動プログラム推進事業		(		随					時		)	
進体制) 基盤整備(推	アイヌ文化関係資料保存活用事業		(		随					時		)	

郷土資料館事業

区分	郷 土 資 料 館		
領域	基盤整備（推進体制）		
事業	諸会議	埋蔵文化財保護活用事業	天然記念物指定鳥類保護事業
目 標	文化財保護等の観点から、その保存及び活用、各種事務運営の促進を図り、地域に根差した推進方策を考える。	遺跡の保護・保存を図ると共に、事前協議が必要なものに関しては調査を実施する。発掘調査が必要なものは、発掘し記録として保存する。	国指定天然記念物指定鳥類の保護のために必要な生育環境の調査、一斉調査を行う。
内 容	○文化財保護調査委員会議 ＜定例＞年 3 回以上 5 月、11 月、3 月 ・いずれかの会議の中で委員研修実施を検討。 ○北海道博物館協会 ・北海道博物館大会 ・ミュージアムマネジメント研修会 ○道東 3 管内博物館施設等連絡協議会 ・総会 5 月頃予定 ・交流推進会議 9 月頃予定	○埋蔵文化財包蔵地のパトロール ○埋蔵文化財事前協議の実施 ○モイレウシ川南岸遺跡・タツカリウス南岸遺跡等の一般分布調査 ○麻布町タツカリウス川南岸遺跡の草刈り作業 ・年 2 回実施する。 ○知床半島先端部地域の埋蔵文化財包蔵地新規搭載に向け、状況に応じた計画策定及び調査実施。	○オジロワシ長期モニタリング調査協力（オジロワシ繁殖モニタリング調査グループ主管） ・担当巢のモニタリング ・年 1 回の会議 ○オジロワシ・オオワシ一斉調査 2 月 22 日（日） ○指定鳥類保護調査員による営巣木確認調査、一斉調査。
時期	随時	随時	随時
場所	郷土資料館 他	町内全エリア	町内全エリア
対象	—	—	—
定員	文化財保護調査委員 7 名	—	天然記念物指定鳥類保護調査員 5 名
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・文化財の保護調査。	【社会教育中期計画年度別指標】 ・埋蔵文化財包蔵地の保護パトロール。	【社会教育中期計画年度別指標】 ・オジロワシ等の各種モニタリング調査。 ・オジロ・オオワシ一斉調査。

郷土資料館事業

区分	郷 土 資 料 館		
領域	基盤整備（推進体制）		
事業	国指定文化財保護事業	道指定天然記念物保護事業	町指定文化財保護活用事業
目 標	平成 27 年度に国の重要文化財に指定された「北海道松法川北岸遺跡出土品」を、確実に後世へ残すよう適切に保存・管理を行ないつつ、活用も図る。	北海道指定天然記念物「羅臼のひかりごけ」、「羅臼の間歇泉」の調査を実施して、保護を図る。	史跡 2 件（旧植別神社跡、久右衛門の澗跡）、無形文化財 1 件（知床いぶき樽）、有形文化財 1 件（弘化の釣り鐘）、天然記念物 1 件（サクライラウスシロカサゴ化石）の保護を図る。
内 容	○地域文化財保存活用計画の策定市町村への調査を行う。 ○日本遺産事業と連携して活用を図る。	○「羅臼のひかりごけ」 ・資料館内での展示及び普及活用及び展示充実の検討 ・ヒカリゴケの教材としての活用 ・ヒカリゴケを屋外での生育実験 ・「羅臼のひかりごけ保存会」との連携 ○「羅臼の間歇泉」 ・複数回の噴湯及び温度調査を実施	○文化財パトロール ○旧植別神社跡の草刈り ○知床いぶき樽演奏映像資料の整理
時期	随時	随時	随時
場所	郷土資料館	マッカウス洞窟・湯ノ沢	郷土資料館、峯浜町、船見町
対象	—	—	いぶき樽保存会、峯浜町内会
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・地域文化財保存活用計画の策定市町村の調査	【社会教育中期計画年度別指標】 ・「羅臼のひかりごけ」モニタリング調査 ・間歇泉モニタリング調査	【社会教育中期計画年度別指標】 ・知床いぶき樽保存会への協力及び映像資料の整備

郷土資料館事業

区分	郷土資料館		
領域	基盤整備（推進体制）	基盤整備（施設）	乳幼児～高齢者
事業	郷土資料館運営事業	郷土資料館管理事業	郷土資料館体験学習講座
目 標	町内外に羅臼の歴史や文化、自然を伝える郷土学習の場として、資料の収集、調査、保存、管理を図る。また、日本遺産鮭の聖地を構成する標津町、根室市、別海町と連携して、資料館の周知及び利用促進を図る。	展示保管環境の整備を図るとともに、利用しやすい施設に向けた施設整備を図る。	郷土の歴史や文化、自然に親しむ講座や企画展を開催し、その理解を深める。
内 容	○日常管理 ○来館者への展示解説 ○収蔵資料の整理及び台帳作成を図る。 ○学校授業での活用等、施設の有効活用 ○日本遺産推進事業 ・シンポジウムの開催 ○観光資源としての各種調査の実施	○計画的な改修について検討を図る。	○郷土資料館体験学習講座 ・出前講座、親子プログラムを含む年3回の体験講座 ○郷土資料館巡回展 ○講座依頼の対応
時期	随時	—	随時
場所	郷土資料館	郷土資料館	郷土資料館等
対象	乳幼児～高齢者	—	乳幼児～高齢者
定員	—	—	—
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・アンケート調査の実施 ・周知方法の改善 ・収蔵資料の整備・台帳作成 ・資料館の通常運営	【社会教育中期計画年度別指標】 ・公共施設管理計画に沿った施設の改修・修繕	【社会教育中期計画年度別指標】 ・郷土資料館体験学習講座の実施 ・町内外の施設での巡回展

郷土資料館事業

区分	郷 土 資 料 館		
領域	少年教育・高齢者教育	少年教育・高齢者教育	基盤整備（推進体制）
事業	社会教育事業等との連携	体験活動プログラム推進事業	アイヌ文化関係資料保存活用
目 標	各種事業と連携し、実物や自然に直接触れることを核とした、ふるさと教育を実施する。	ふるさと教育推進のための、魅力あるプログラムの充実と、その活用を推進する。	羅臼町ならではのアイヌ民族との共生の歴史を次世代に継承し、また情報発信し内外に伝えることにより、アイヌ文化の振興を図る。
内 容	○ふるさと少年探検隊との連携プログラムの実施。 ・モイレウス川南岸遺跡の発掘調査。 ○ふるさと少年体験教室（知床 KIDS）との連携プログラムの実施。 ○こまぐさ学級との連携プログラム。	○高齢者プログラムの周知	○チャン跡の記録保存 ・峯浜チャン跡、幌萌川左岸チャン跡の測量調査等による地形測量図及び3Dモデルデータ作成。 ○アイヌ文化関係書籍の収集及び分析 ・アイヌ文化施策推進のためのガイドブック構成案作成。 ・ガイドブック構成案作成のための書籍収集。 ○アイヌ文化関係資料の整理 ・町内のアイヌ関係遺跡の写真のデジタル化。 ・近隣市町村への羅臼町ゆかりのアイヌ文化関係資料調査
時期	随時		随時
場所	郷土資料館・モイレウシ		郷土資料館・峯浜・幌萌
対象	少年・高齢者		
定員	—		
備考	【社会教育中期計画年度別指標】 ・ふるさと少年探検隊との連携プログラムの実施。 ・ふるさと少年体験教室（知床 KIDS）との連携プログラムに実施。	【社会教育中期計画年度別指標】 ・高齢者プログラムの周知	【社会教育中期計画年度別指標】

資 料 編

1. 公民館関係

- (1) 過去10年間における公民館利用状況 36

2. 図書館利用統計

- (1) 年度別図書購入決算額 37
- (2) 年度別登録者 37
- (3) 年度別蔵書冊数 37
- (4) 年度別貸出冊数 38
- (5) 年度別貸出利用状況 38

3. 社会教育（体育）関係

- (1) 過去3年間の総合運動公園利用状況 39
- (2) 過去3年間の温水プール利用状況 40
- (3) 過去3年間の町民体育館利用状況 40
- (4) 過去3年間の町民体育館種目別利用状況 41
- (5) 過去3年間の学校開放利用状況 42

4. 郷土資料館利用状況 42

5. 町の概要

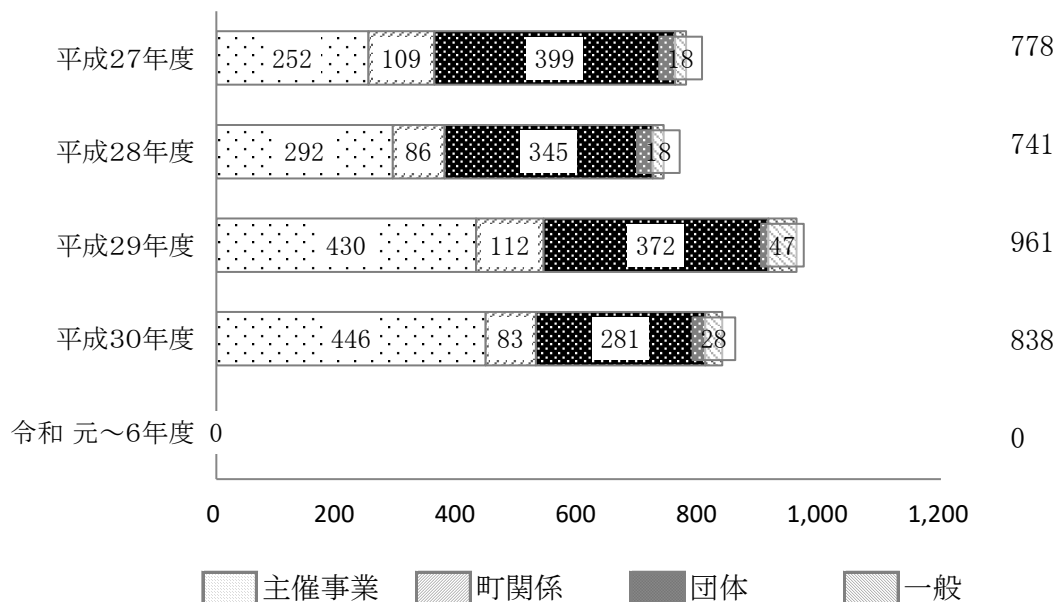
- (1) 人口
 - ・人口・世帯数の推移 43
- (2) 産業
 - ・産業別15歳以上就業者数の推移 43
 - ・漁業生産状況過去10年の推移 43
- (3) 教育
 - ・小・中学校の推移 44
 - ・幼稚園 44
- (4) 福祉
 - ・福祉施設 44
 - ・社会教育・社会体育施設 44

1. 公民館関係

(1) 過去10年間の公民館利用状況

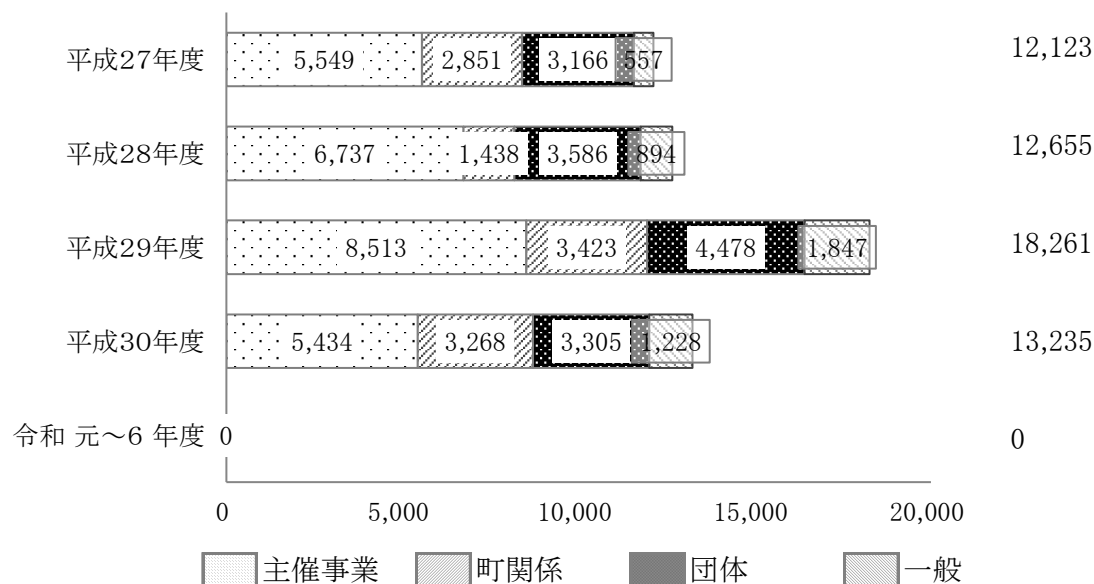
①利用件数 (単位:件)

	主催事業	町関係	団体	一般	合計
平成27年度	252	109	399	18	778
平成28年度	292	86	345	18	741
平成29年度	430	112	372	47	961
平成30年度	446	83	281	28	838
令和 元～6年度	平成31年3月6日から休館となり、令和元年12月19日解体				



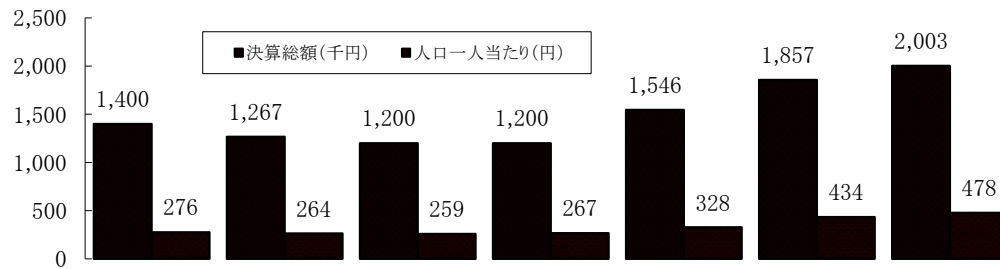
②利用人数 (単位:人)

	主催事業	町関係	団体	一般	合計
平成27年度	5,549	2,851	3,166	557	12,123
平成28年度	6,737	1,438	3,586	894	12,655
平成29年度	8,513	3,423	4,478	1,847	18,261
平成30年度	5,434	3,268	3,305	1,228	13,235
令和 元～6年度	平成31年3月6日から休館となり、令和元年12月19日解体				



2. 図書館利用統計

(1) 年度別図書購入費決算額と人口一人当たりの図書購入費

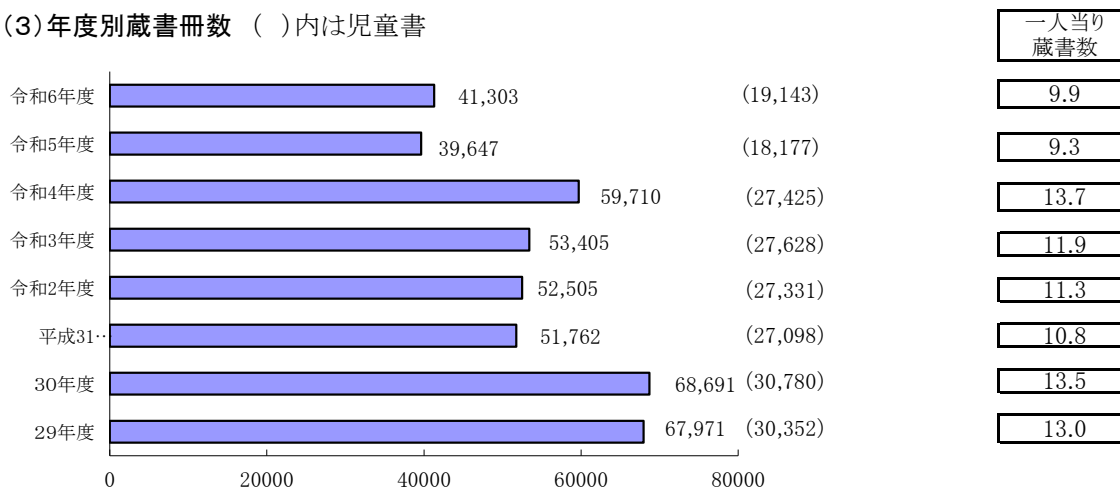


	平成30年度	平成31年・令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
決算総額(千円)	1,400	1,267	1,200	1,200	1,546	1,857	2,003
人口一人当たり(円)	276	264	259	267	328	434	478
指数(30年度ベース)	100%	91%	86%	86%	110%	133%	143%
3.31人口(人)	5,076	4,803	4,634	4,490	4,348	4,278	4,188

(2) 年度別登録者数(個人登録)

	平成30年度	平成31年・令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録者数(人)	2,600	2,651	2,743	2,765	2,832	2,862	2,954
(町外登録者)	218	250	256	257	266	272	294
登録率(%)	51.22%	57.21%	59.19%	61.58%	65.13%	66.90%	70.53%

(3) 年度別蔵書冊数 ()内は児童書



<特記事項>

公民館からの移設に伴って、図書の除籍を行ったため大幅に蔵書数が減少している。
令和5年度は、新図書館移転に伴って、図書の除籍を行ったため、大幅に蔵書数が減少している。

(4) 年度別貸出冊数

	平成30年度	平成31年・令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
貸出冊数(個人)	15,759	9,351	8,670	9,969	12,867	10,711	11,123
うち児童書	10,960	6,346	5,257	6,350	8,382	7,097	6,210
比率	69.55	67.86	60.63	63.70	65.14	66.26	55.83
住民一人当たり 個人貸出冊数	3.10	1.95	1.87	2.22	2.95	2.50	2.66

参考【管内比較】(令和6年度)

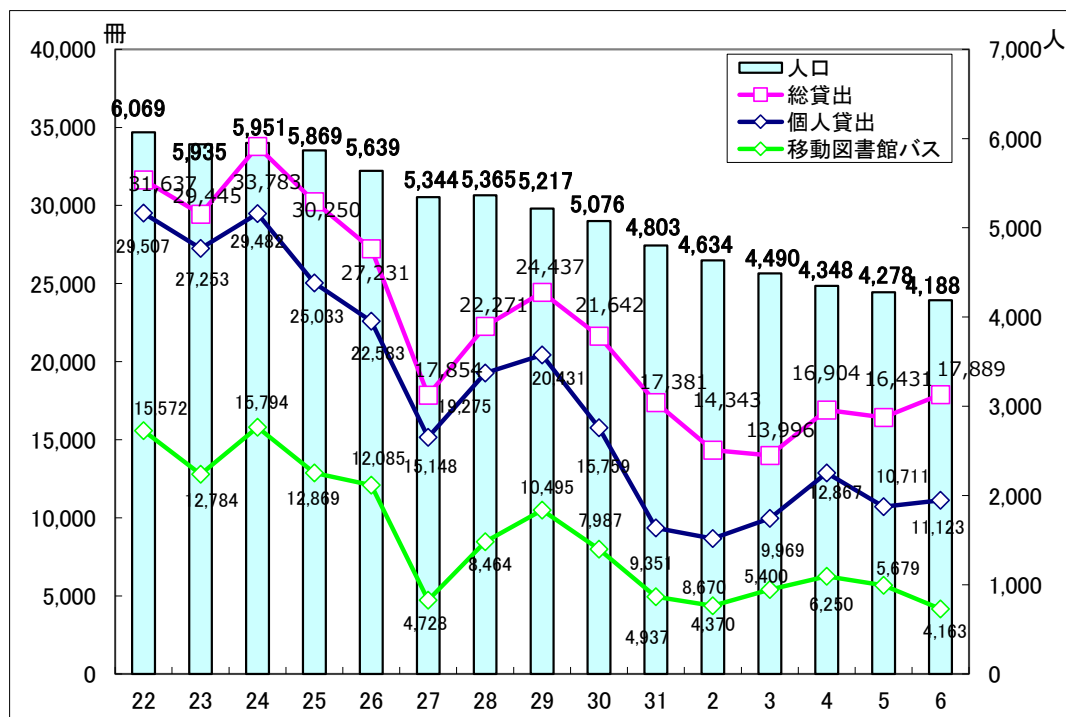
人口各市町HP又は広報誌

	羅 臼	根 室	別 海	中標津	標 津
人口	4,188	22,385	13,936	22,239	4,731
個人貸出冊数	11,123	75,955	50,225	89,062	18,647
一人当たり 貸出冊数	2.66	3.39	3.60	4.00	3.94

人口算出日 R7.3.31現在 R7.2.28現在 R7.2.28現在 R7.2.28現在 R7.4.1現在



(5) 年度別貸出冊数



〈参考〉過去5年の開館日数

(日)

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
264	220	295	249	253

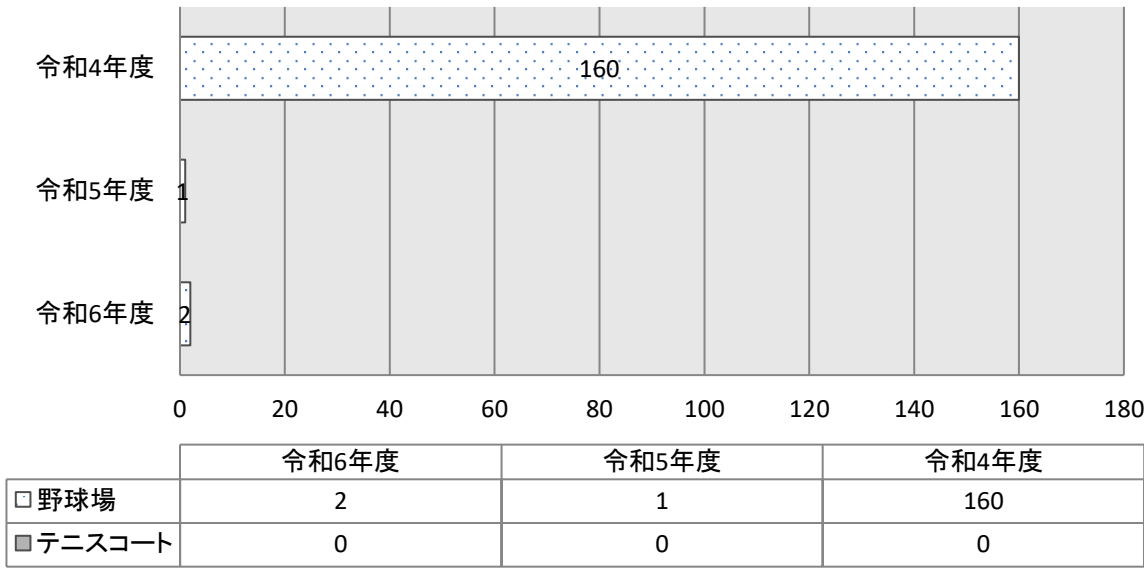
＜特記事項＞

令和2年度は、コロナ感染症対策のため4月18日から5月25日まで臨時休館。
 令和3年度は、コロナ感染症拡大防止のため5月15日から6月20日、8月20日から9月30日まで臨時休館。
 令和5年度は、新図書館移転作業のため2月1日から3月31日まで臨時休館。
 令和6年度は、新図書館移転作業のため4月1日から5月20日まで臨時休館、5月21日から5月31日までプレオープン、6月2日にグランドオープン。

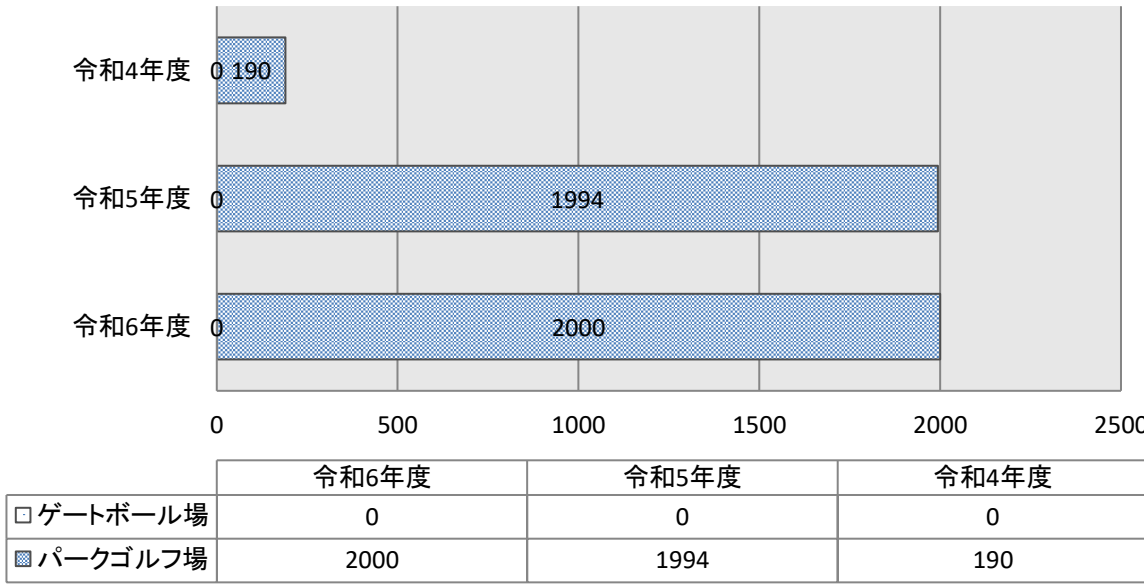
3. 社会教育（体育）関係

(1) 過去3年間の総合運動公園利用状況 ※大会のみ

単 位 : 回

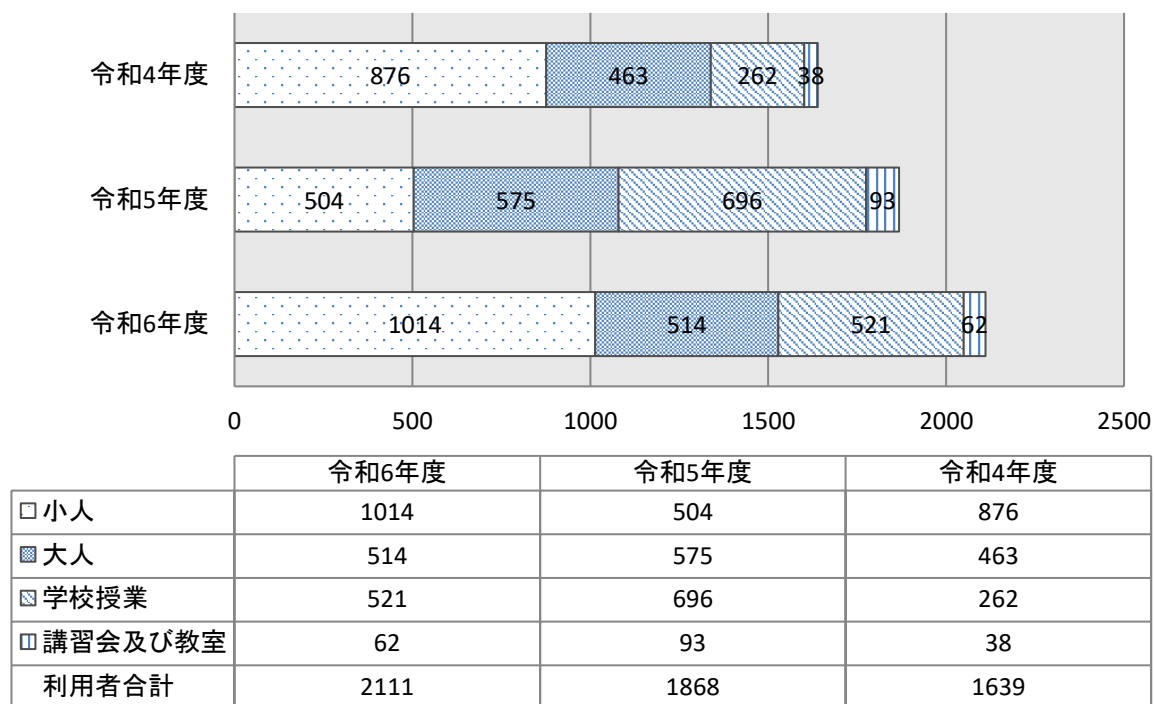


単 位 : 人



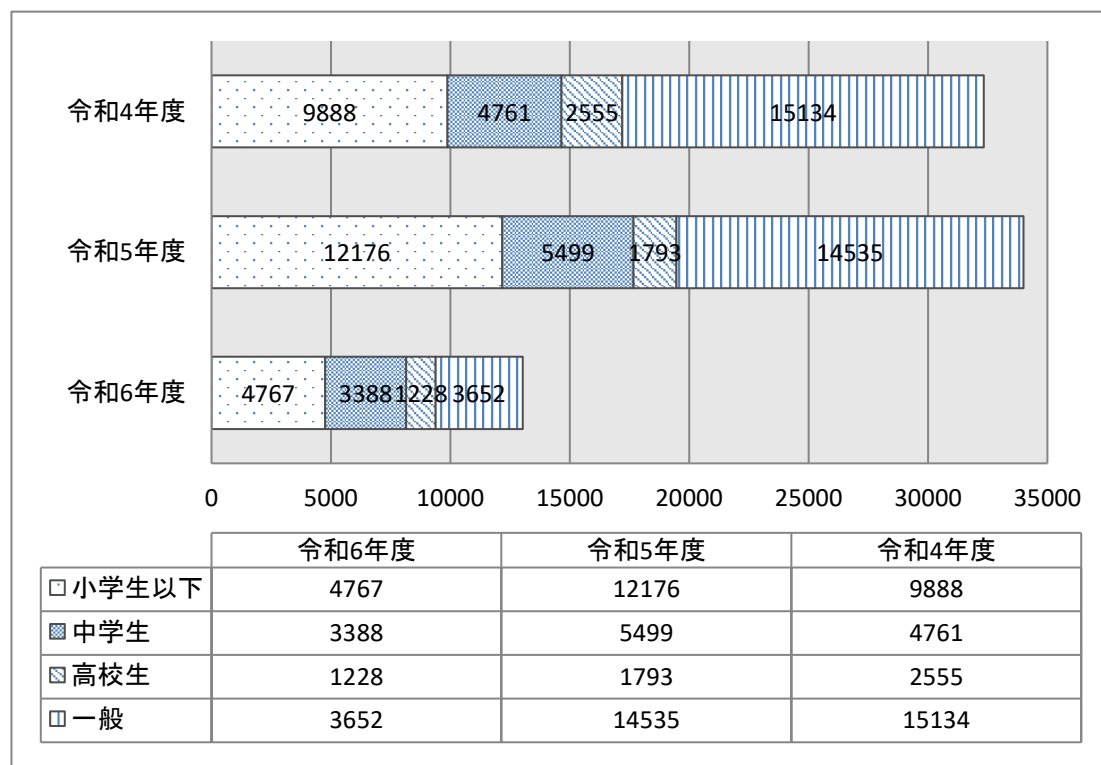
(2) 過去3年間の温水プール利用状況

単 位 : 人



(3) 過去3年間の町民体育館利用状況

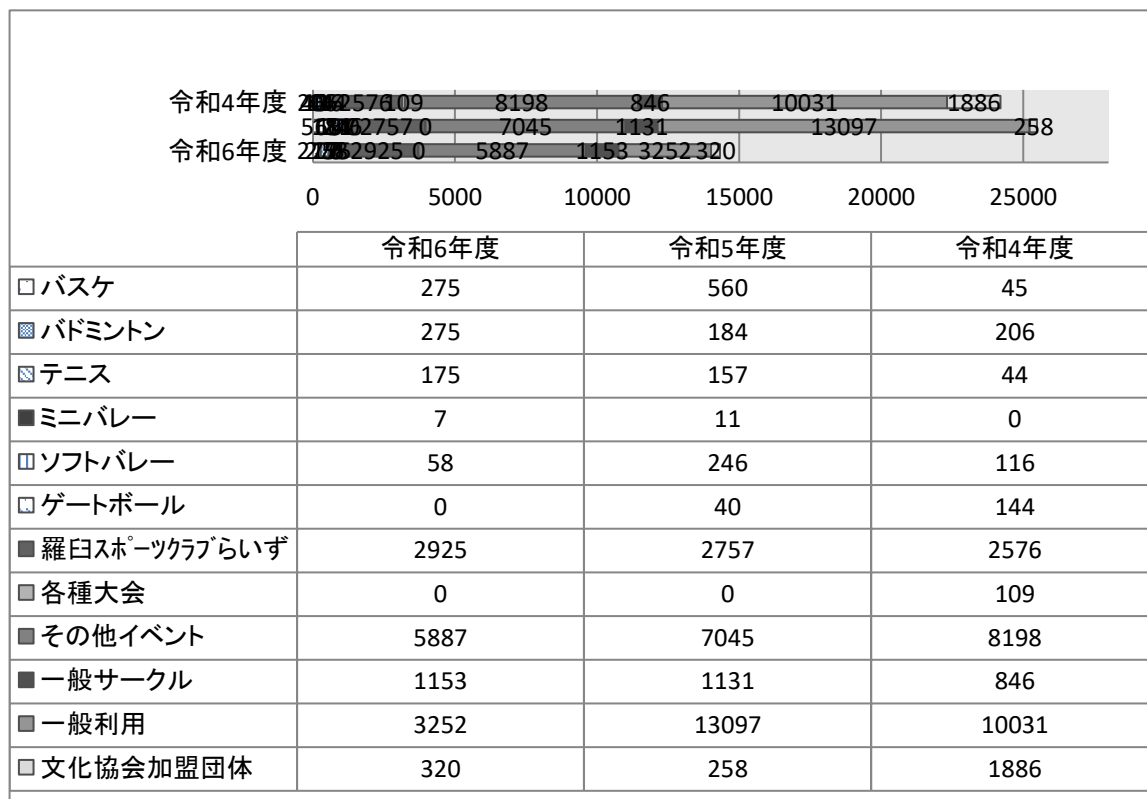
単 位 : 人



(4) 過去3年間の町民体育館種目別利用状況

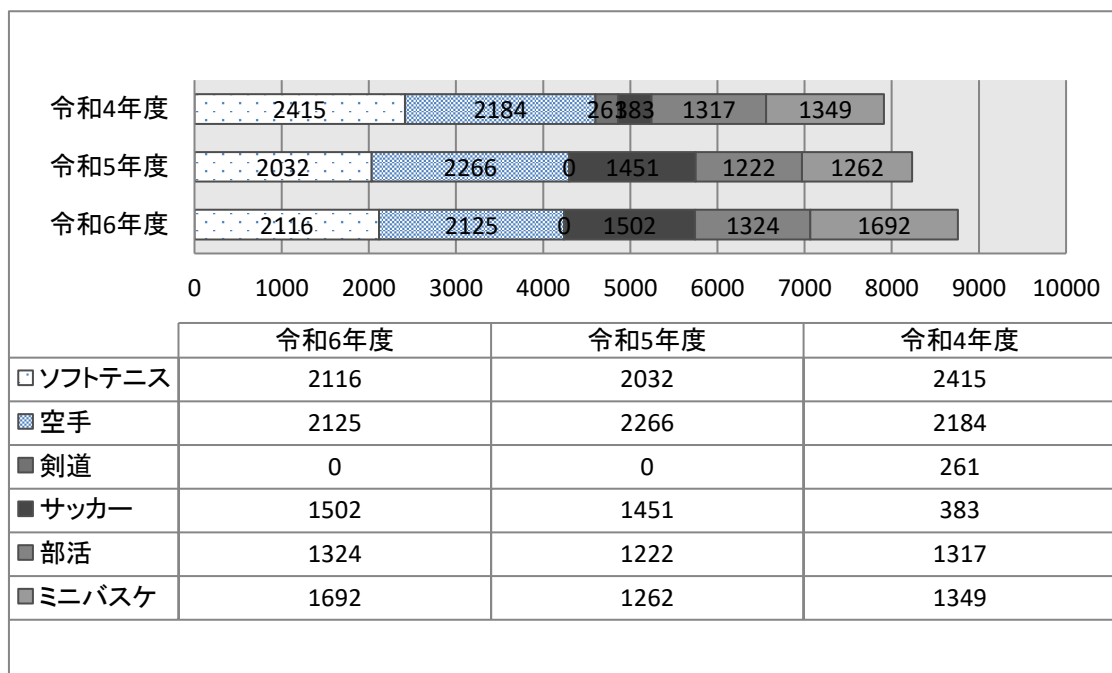
単 位 : 人

(一般開放)



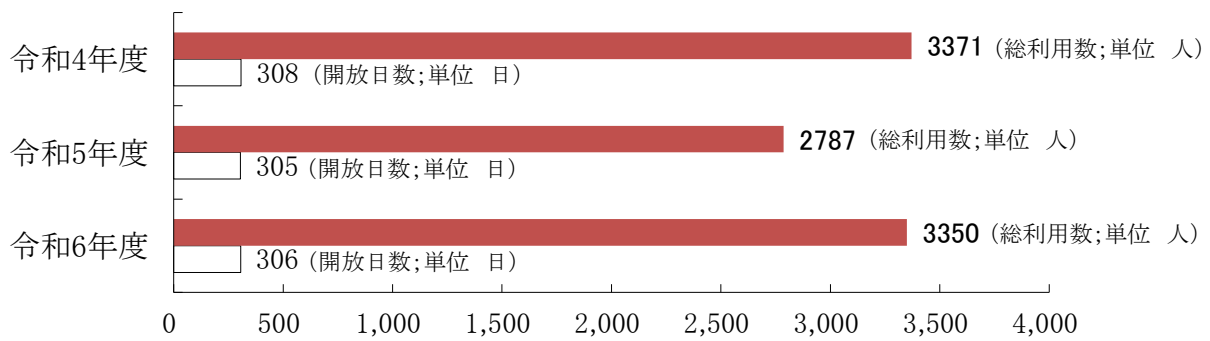
(スポーツ少年団)

単 位 : 人

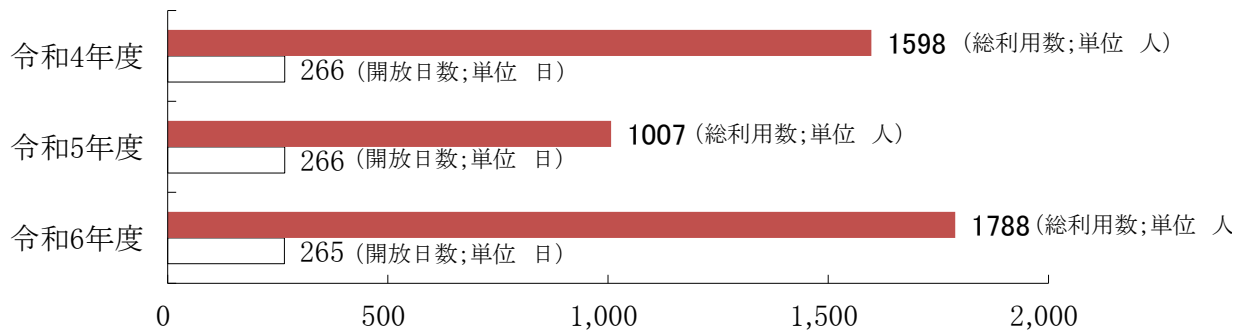


(5) 学校開放関係

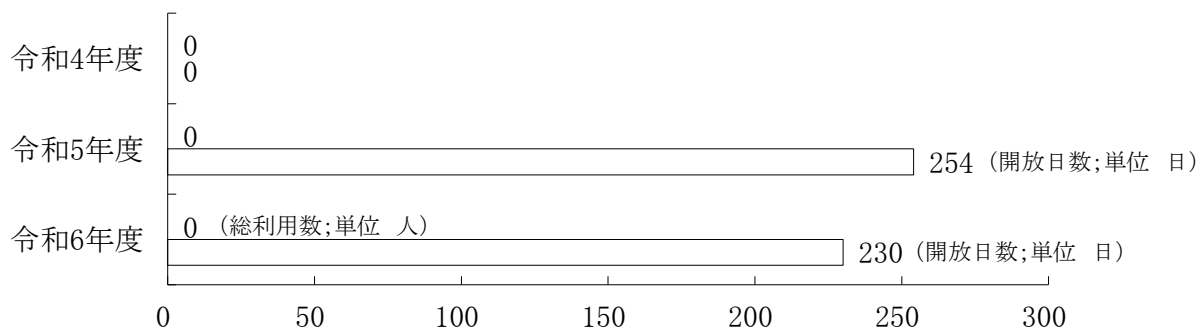
1. 羅臼小学校



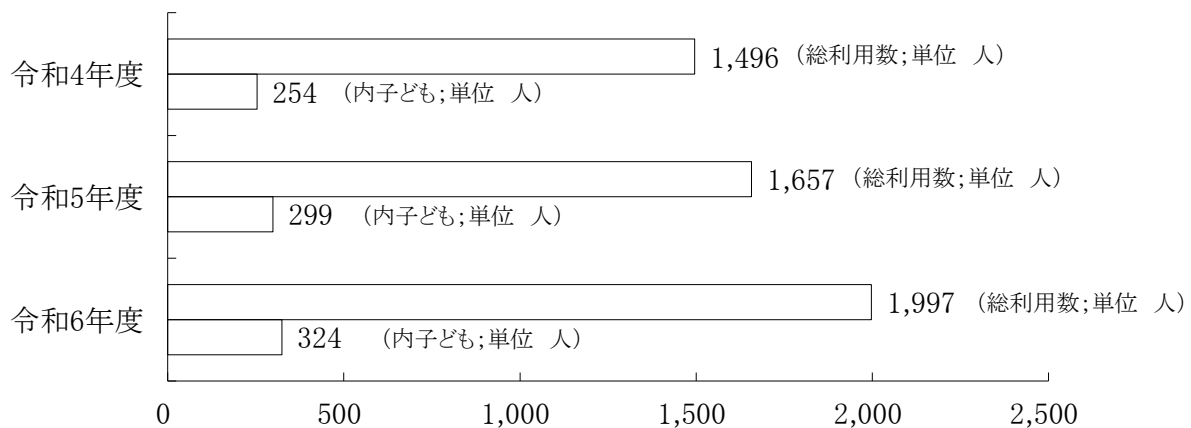
2. 春松小学校



3. 知床未来中学校



4. 郷土資料館



5. 町の概要

(1) 人口

■人口・世帯数の推移■ (単位:件:人)

	世帯数	人 口			出 生 数			備 考
		男	女	計	男	女	計	
令和 2 年度	2,016	2,307	2,327	4,634	9	10	19	3 月末
令和 3 年度	2,008	2,242	2,276	4,518	8	8	16	3 月末
令和 4 年度	1,990	2,186	2,216	4,402	8	9	17	3 月末
令和 5 年度	1,906	2,148	2,130	4,278	2	3	5	3 月末
令和 6 年度	1,892	2,050	2,046	4,096	5	6	11	3 月末

(2) 産業

■産業別 15 歳以上就業者数の推移■ (単位:人) (国勢調査調べ)

産業区分	年次	平成 2 2 年			平成 2 7 年			令和 2 年		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数		3,404	2,048	1,356	3,221	1,904	1,317	2,829	1,628	1,201
第一次産業		1,497	1,022	475	1,262	903	359	1,101	752	349
農業		29	17	12	30	17	13	30	16	14
林業・狩猟業		7	7	0	2	2	0	2	2	0
漁業		1,461	998	463	1,230	884	346	1,069	734	335
第二次産業		591	340	251	648	385	263	450	256	194
鉱業		5	5	0	0	0	0	1	1	0
建設業		155	131	24	185	160	25	139	119	20
製造業		431	204	227	463	225	238	310	136	174
第三次産業		1,313	684	629	1,311	616	695	1,213	585	628
卸・小売業		318	141	177	258	102	156	246	98	148
金融・保険・不動産業		38	20	18	32	13	19	25	10	15
運輸・通信業		104	84	20	94	71	23	110	76	34
電気・ガス・水道業		4	2	2	0	0	0	4	2	2
サービス業		678	289	389	753	291	462	666	264	402
公務		171	148	23	174	139	35	162	135	27
分類不能の産業		0	0	0	0	0	0	65	35	30

■漁業生産状況過去 10 カ年の推移■ (単位:トン:千円)

	平成 2 7 年		平成 2 8 年		平成 2 9 年		平成 3 0 年		令和 元 年		令和 2 年		令和 3 年		令和 4 年		令和 5 年		令和 6 年	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
ほ っ け	209	140,652	119	63,703	272	114,136	1,014	225,140	1,092	228,818	1,512	269,210	4,708	498,484	1,127	192,653	1,356	330,422	1,701	476,217
ま す	518	249,405	760	224,365	170	86,424	409	150,258	165	45,843	355	132,232	55	18,565	68	33,831	118	52,224	144	42,086
い か	6,720	1,781,992	429	279,898	108	43,009	169	73,413	2,670	1,873,598	224	122,425	1,093	682,409	309	256,101	155	110,955	8,226	60,600
す け そ	6,853	972,399	8,126	1,150,733	5,111	807,310	4,640	760,613	4,991	611,410	3,082	440,548	5,411	608,191	7,241	746,827	7,294	863,481	6,119	741,974
た ら	1,206	518,042	2,108	945,142	2,855	856,705	4,668	1,117,141	4,344	1,084,058	3,959	846,758	3,385	688,971	3,384	786,938	2,737	708,696	3,227	770,030
か れ い	1,141	200,516	998	154,031	1,377	221,469	1,227	197,181	1,376	228,563	1,181	172,484	1,161	157,306	1,293	173,664	920	120,761	1,172	115,604
め ん め	56	197,844	46	174,960	49	172,039	51	179,041	61	213,367	51	163,423	52	188,389	59	222,145	95	331,025	114	401,866
え び	21	60,911	20	63,609	23	65,921	19	64,341	11	47,741	5	31,647	4	28,074	5	31,589	11	28,108	5	23,243
う に	163	275,622	126	240,052	108	248,209	86	250,782	96	320,207	67	183,841	81	225,515	111	391,158	79	167,505	77	265,210
お ひ よ う	34	22,206	33	22,396	27	18,452	40	16,310	31	11,420	17	6,709	16	5,350	13	6,880	14	7,481	22	7,855
か に	79	58,143	129	118,445	12	19,412	209	195,427	92	101,721	11	19,485	8	15,457	14	23,139	12	20,332	16	42,917
た こ	279	108,738	353	133,618	566	247,717	597	274,767	597	223,354	354	126,382	230	132,471	186	149,475	199	166,800	297	184,411
秋 さ け	7,559	3,933,518	6,968	4,774,476	2,307	2,549,943	2,983	2,116,933	2,008	1,176,937	1,493	1,164,998	1,876	1,686,769	3,587	2,583,700	2,790	1,836,699	4,240	4,318,743
時 さ け	74	106,532	53	65,346	27	52,420	72	123,980	19	53,028	122	157,629	8	28,642	40	115,965	20	68,174	6	27,709
ケ イ ジ	4	56,319	0	16,267	1	29,444	1	6,587	1	7,438	1	3,104	0	8,375	0	5,029	0	8,492	0	10,344
さ ん ま	0	5	0	2	4	8,354	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
め ん き	10	20,375	18	42,548	18	13,835	14	28,440	12	26,314	14	24,186	17	27,528	16	32,636	15	30,116	14	28,462
そ い	465	75,043	450	65,876	431	64,649	300	41,221	336	37,793	257	22,626	270	20,394	251	17,502	296	26,619	251	21,011
つ ぶ	82	28,964	143	56,270	98	29,425	108	28,592	74	15,533	74	14,635	60	13,100	44	12,754	37	11,745	23,453	35,161
ほ た て	52	24,595	20	8,087	6	4,217	9	1,882	9	1,767	66	11,143	65	18,134	124	54,840	84	32,512	10	1,872
ぶ り					231	101,168	423	295,276	692	314,829	410	229,319	687	376,323	1,314	544,219	1,400	548,684	693	292,910
さ ば									16	756	23	1,084	1,595	164,709	585	96,226	564	90,187	533	84,326
そ の 他	1,374	348,580	1,790	288,041	1,971	343,291	2,401	284,510	2,612	275,649	2,492	187,333	2,514	255,049	3,147	426,870	3,470	503,143	4,763	861,507
こ ん ぶ	196	445,187	296	694,174	296	694,175	290	776,597	183	489,387	336	846,926	157	414,996	285	777,752	263	731,263	99	287,397
ほたて稚貝	2,494	960,473	2550	997,827	847	1,038,696	1594	851,922	2848	1,181,427	2,983	1,142,118	2,835	1,229,210	2,647	1,321,402	2,325	1,136,426	2,860	1,505,322
合計	29,589	10,586,061	25,535	10,579,866	16,915	7,830,420	21,324	8,060,354	24,336	8,570,958	19,089	6,320,245	26,288	7,492,411	25,850	9,003,295	24,254	7,931,850	58,042	10,606,777

※ます数量はさくらますとの合計数値。うに数量は殻換算による。ぶりは平成 2 9 年から追加された項目。さばは令和元年度より追加。

また、平成 3 0 年度よりさんまの漁獲量が低下したことから、令和 3 年度より統計を中止。

(3) 教育

■小・中学校の推移■

(4月1日現在)

区 分 年 度	小 学 校				中 学 校			
	学校数	学級数	児童数	教職員数	学校数	学級数	児童数	教職員数
平 成 2 3 年	2	18	357	27	2	9	164	24
平 成 2 4 年	2	17	329	28	2	11	177	28
平 成 2 5 年	2	19	309	29	2	8	150	26
平 成 2 6 年	2	17	289	32	2	10	171	30
平 成 2 7 年	2	17	273	31	2	10	156	28
平 成 2 8 年	2	17	244	30	2	8	167	28
平 成 2 9 年	2	17	237	30	2	8	160	29
平 成 3 0 年	2	17	243	27	1	8	148	18
平成31年(令和元年)	2	19	243	36	1	7	121	16
令 和 2 年	2	19	230	35	1	7	121	18
令 和 3 年	2	20	214	37	1	5	114	14
令 和 4 年	2	19	209	35	1	8	114	15
令 和 5 年	2	19	207	36	1	7	104	17
令 和 6 年	2	20	189	37	1	8	116	17
令 和 7 年	2	19	164	40	1	7	122	15

■幼稚園■

施設名	園児数				教職員数			開設年月日	面積(㎡)	
	定員	令和7年	令和6年	令和5年	令和7年	令和6年	令和5年		敷地	建物
羅臼幼稚園	210	43	44	45	10	9	10	H19.4.1	3,715.40	1,029.48
春松幼稚園	105	11	13	23	7	7	10	H19.4.1	1,217.00	810.00
合計	315	54	57	68	17	16	20			

(4) 福祉

■福祉施設■

住 所	所 在 地	電話番号
峯浜町福祉館(峯浜町コミュニティセンター)	峯浜町508番地4	88-3006
春日町福祉館	春日町47番地2	88-2867
麻布町福祉館	麻布町10番地1	88-2860
八木浜町福祉館 (子ども発達支援・子育て支援センターありんこ)	八木浜町30番地の1	88-2863 (88-1515)
知松福祉館	知昭町61番地	88-2869
海岸町福祉館(海岸町コミュニティセンター)	海岸町441番地	89-2128
岬町福祉館(岬町コミュニティセンター)	岬町119番地1	89-2117
羅臼町老人福祉センター(福寿園)	湯ノ沢町14番地1	87-2390
羅臼町コミュニティセンター	船見町2番地の16	87-3904
羅臼町農林漁業体験実習館	幌萌町627番地	88-1094

■社会教育・社会体育施設■

施 設 名	所 在 地	施 設 内 容
羅臼町公民館(昭和45年開設) ※平成31年3月6日より休館、令和元年12月19日解体	栄町102番地	面積/1,742.662㎡ 設備/大ホール、研修室、図書室、実習室
羅臼町図書館(令和6年開設)	本町71番地12	面積/486.74㎡ 設備/1階閲覧室、多目的室、おはなしのへや、閉架書庫 等
羅臼町郷土資料館(平成23年開設)	峯浜町307番地1	面積/1,810.76㎡(展示室:388.0㎡、収蔵庫432.9㎡) 設備/考古・中近世・産業・生活・動物・植物・昆虫展示室他
らうすば(羅臼町民体育館)(昭和49年開設・令和元～3年度改修)	栄町102番地	面積/2,904.6㎡ 設備/アリーナ、多目的ルーム、トレーニング室、会議室 調理実習室
羅臼町民スキー場(昭和55年開設)	礼文町32番地	面積/169,050㎡ 設備/スキーリフト2基(940.5m) ※平成20年度よりリフト運行休止
羅臼町民温水プール(昭和60年開設)	湯ノ沢町14番地2	面積/1,072㎡ 設備/温泉熱利用給湯方式、大プール25m×12m 6コース
羅臼町営野球場(昭和57年開設)	幌萌町623番地2	面積/12,592㎡ 設備/バックネット、ダックアウト、スコア・ボード、両翼91m
羅臼町営テニスコート(昭和58年開設)	幌萌町623番地2	面積/2,320㎡ 設備/全天候型ラブリテックス3面
羅臼町営ゲートボール場(昭和63年開設)	幌萌町623番地3	面積/2,371.36㎡ 設備/グリーンコート3面
羅臼町営パークゴルフ場(平成4年開設)	幌萌町622番地4	面積/52,500㎡ 設備/4コース 36ホール、管理棟
羅臼小学校コミュニティセンター優・遊・悠(平成7年開設)	本町41番地	面積/4,235㎡(校舎)、1,291㎡(体育館) 設備/体育館、陶芸室、多目的ホール、音楽室、家庭科室等
春松小学校コミュニティセンター(平成18年開設)	八木浜町146番地	面積/3,564㎡(校舎)、1,018㎡(体育館) 設備/体育館、多目的活動ホール、家庭科室、コンピューター室等
峯浜緑地広場【旧植別小中学校グラウンド】(平成22年開設)	峯浜町307番地1	面積/9,882㎡ 設備/サッカーゴール1組